京城日報

九月四日夕刊（朝夕併せて八頁）

本紙定價　壹部參錢　壹ヶ月七拾五錢
發行兼編輯人　奥田直毅
印刷人　小川三之介
發行所　京城太平通一丁目　合資會社京城日報社

◇チ軍前衛聯絡

鐵道チ軍の手に歸す

共筋著公表＝其一＝セミヨノフ枝隊と行動を共にせしチエック將軍の報道に據れば西部方面のチエック前衛は九月一日オロウヤンナヤに到着し之と聯絡するを得たりと尚ボクペンザよりオロウヤンナヤ迄の鐵道はチエック軍の手に歸せりと（東京電）

◇敵俘虜捕虜希望

共筋著公表＝其二＝恰克圖に於ける獨墺俘虜千八百名中武裝せざるもの三百名は瑞典赤十字團を介しチエック軍代表者支那官憲と交渉し俘虜とならん事を提議せり（東京特電）

◇過激軍チ軍擊破

烏拉爾以南のチ軍不振

共筋著公報＝其三＝過激派軍は北部高加索ヴオルガ河沿岸カザン附近にてチエック軍を擊破せりと要するに烏拉爾以南のチエツク、スラヴアツク軍は今や勢力不振の狀にあり（東京特電）

□天長節祝電御交換

三十一日の天長節に際し英、伊、瑞三國皇帝より我陛下に對し祝電を寄せられたるを以て陛下より御答電あらせられたり尚當日は和蘭皇帝の御誕辰日に相當せるを以て兩陛下より御祝電を發せられたり（東京特電延着）

◇聯合軍用意慎重

共筋著公表＝其四＝黑龍江には十數隻の敵砲艦あるを以て聯合軍が黑龍江畔に進出するに當りては之等の艦隊に對し顧慮せざる可からざると同時にアラゴエチエンスク以東にある敵の兵力約一萬九千が堅固なる工事を構築せるハバロフスクの陣地に據りて決戰を行ふに至らば聯合軍は之れに對し慎重なる行動を執らざる可からざるに至る可し（東京特電）

◇最後の一兵迄

極東委員會の戰爭繼續

共筋著公表＝其五＝ニコラエフスクよりの報道に據れば極東委員會は八月三十一日ハバロフスク市に引揚げアレキセーフスクに移轉せる最後の一兵に至るまで戰爭繼續を決議せり（東京特電）

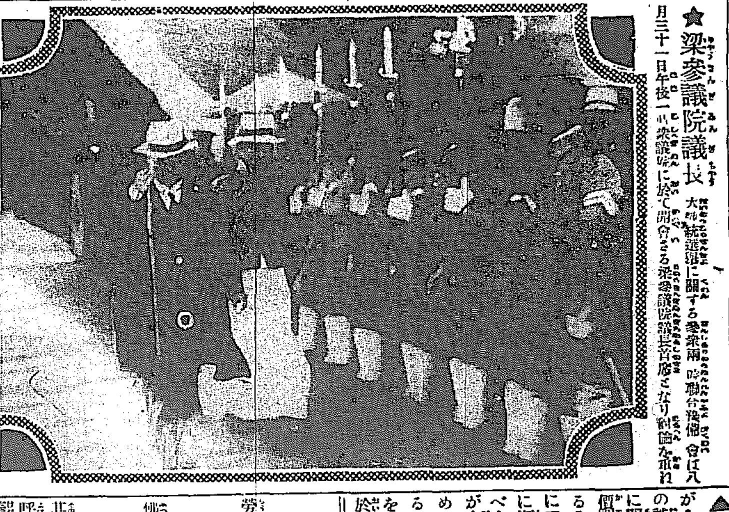
◇カルイムスカヤ占領

チ軍セ軍枝隊と聯絡

共筋著公表＝其六＝イルクツク方面より前進せるチエツク軍はチタ、カルイムスカヤを占領し滿洲里方面より進出せるセミヨノフ枝隊とオノン河畔に聯絡せり（東京特電）

◇我兵現出敵恐怖

共筋著公表＝其七＝俘虜の言に據れば後貝加爾州の敵は日本軍滿洲里方面に現出せるを知りし以來元氣頓に衰へ脫走兵相踵いて生ずるの情態にあり（東京特電）



★梁參議院議長　大總統選擧に關する參衆兩院聯合豫備會は八月三十一日午後一時衆議院に於て開會さる梁參議院議長首席となり討論を重ねたるが結局滿場一致を以て九月四日午前十時選擧を行ふ事となれり當日は散會後馮大總統を訪問すべく衆議院を出でんとする梁士詒氏（〇印）なり（北京）

◇北滿派兵通牒

政府は最近北滿方面派兵に就て米國政府に對し通牒を發したる由なるが同政府よりは未だ何等の回答に接せずこ（東京特電）

◇大谷大將接見宴

聯合軍親善の杯を擧ぐ

大谷大將の接見宴は二日軍司令部に於て開催せられ米軍側よりはグレアヴエス少將ナイト提督英軍側よりはピション大佐を始め來賓五百餘名出席聯合軍親善の杯を擧げたり（浦鹽電報）

◇過激派報復手段宣明

＝レニン暗殺に就て＝

露都發電に據ればレニンは二名の婦人に狙擊され死亡せり爲めに過激派政府は九月一日宣言を發し革命の敵に對し容赦なく報復手段を實行すべき旨聲明せり（巴里電報）

◇革黨員死刑宣告

莫斯科よりの報に據れば同市にて革命黨員五千名捕縛され悉く死刑を宣告されたり同市は目下軍隊にて嚴重警備されつゝあり（アムステルダム電報）

◇獨移送兵射殺

和蘭新聞所報＝露國より移送されたる獨軍一個聯隊は西部戰線に赴くことを拒みたる爲め百三十名射殺されたり（アムステルダム電報）

◎米穀貸出消極

鮮銀の方針一決す＝米穀買付の防止＝軍需米には援助

朝鮮銀行にては二三兩日間片山理事吉田局長以下本店營業當局並に朝鮮内各主要支店長參集米に對する今後の▲金融方針を協議したるがその内容並に結果に付同行主腦の談を聞くに今回總督府にては米に關する總督諭告の發表もあり米價調節に對し適當の措置を講ぜらるる事に決定したるに付朝鮮銀行にても中央銀行として當局の方針に順應するため相當の手段を執るべく今回會議を開きたるものなるが大體に於て（一）暴利を得んがためと認むべき又若干にても疑ひある米の買附に對しては一切貸出しをなさゞる事（二）手續きと方針に於て何等異とするに足らざるも短期間に比較的多量の實米を買締め▲市價の昂騰を惹起するが如きものに對しては擔保の如何に拘らず金融を附せず之等は從來とても其方針にて實行しつゝあるも今後は一層勵行する事（三）內地に於ける正米收用の手心は未だ確的に知り難きも該收用令はいつにても公表の如く適用さるゝものなることし假へば大阪著白米石四十圓と云ふが如き移出は頗る有利のものにても爲替の仕向けは收用令に觸るる虞あるに付補償價格以下の見當ならでは取組まざる事等を主こし申し合はせをなしたるにあり要するに鮮内に於ける在米は新穀出廻り期までに喰ひ繫ぎ不足こ云ふ能はざれど然も內地に於ける在米涸渇せらるゝ等の關係より鮮米の買附け起るやも圖られず又暴利を目的こする▲商人の買占め出動も絶無を保すべからず旁々之等を防止し市價の昂騰を抑止せんとする方針をこらんとするにあり唯最近京城仁川南浦群山木浦釜山各地の有力者を以て組織されたる朝鮮物産組合が當局の意を享け軍需米の買締めをなさんとする如き場合には國家のために付金融も極力援助をなさんとするにあり云々

▲各銀行態度　朝鮮銀行の米に對する貸出方針は前項の如く決定せしが該方針は度支部の意向により新に協議されしものに付當然各銀行にても中央銀行たる鮮銀の態度に順應する事こなるべく今白米に對する各銀行の金融は消極的制限に傾く事こなるべく惹いて米價に影響を來すならんと觀ぜらる

◇唐督軍重慶行

東京著電＝雲南督軍唐繼堯氏は八月二十二日重慶に赴けり（東京特電）

◇殖銀經過

十月一日創立總會開會

朝鮮殖産銀行株式募集は近來稀なる好況裡に締切り第一回拂込も去る八月二十日完了し行規類は中村幹事主として立案編成中なりしが大部分終了せるより頭取に內定せる三島太郎氏本月中旬當選の上常務委員會を開きて之れを決定し始政記念日たる十月一日農銀に於て創立總會を開き行規及び收支計算書の承認並に重役の選擧を了し朝鮮農銀の業務一切を引き繼ぐ豫定なりと（東京特電）

◇錢鈔公所組織

擬案中なりし安東錢鈔公所は二十四名の組合組織にて資本金十萬圓とし本月十五日頃迄には開業の見込にて目下準備中なり（安東特電）

◇ウニツキト暗殺

勞農政府内務委員長ウニツキトは暗殺され下手人は捕縛されたり（倫敦電報）

◇チエック水兵暴動

佛國公報に曰く墺國軍艦乘組のチエック水兵は暴動を起せり（華盛頓電報）

◇芬蘭國王未定

共筋著公報＝アドルフ、フリードリッヒ大公は芬蘭國王として呼聲高かりしがウオルフ電報は突然之を否認せり又國内君主制反對の氣勢高き爲め統治上の困難を察し大公は斷念したるものに非ざるか新候補者に就きては未だ何等確報無し（東京特電）

◇獨逸親衛兵叛亂

獨逸ムーニッヒに於ける親衛兵七百名は叛亂を起し宿舍に防禦物を設けたるも遂に降伏せり（アムステルダム電報）

◇ラオン要塞守備

クルップ會社の職工三萬人は戰線に派遣され今やラオンの要塞は熱狂的に堅固に守備されつゝあり（アムステルダム電報）

◎聯合軍要地占領

英軍はペロンヌ及びニユーベリースを占領し米佛聯合軍はソアソンの北方テルニーソリーを占領せり（倫敦電報）

◎總督救濟金分配方

長谷川總督より救濟金として各道に對して寄附されし一萬五千圓の分配方に關しては爾來當局に於て鋭意研究中の處此程確定を見左の如く各道に對して分配する事こなりたるが右は主こして各道の人口を標準こしたるものなるも大市街地の地方に對しては幾分の增率を爲す可く若干の參酌を加へたりこ尚ほ右分配額は各道に對し既に夫々通牒を發したるがこれが用途に就ては大體に於て道長官適宜其の地方の情況に依りこれを定む可きも主こして各地所在の米穀廉賣を目的こする救濟金或は窮民救助等に使用さる可しこ

▲京畿三千七百四十圓▲忠北四百四十圓▲忠南六百六十圓▲全北七百六十圓▲全南一千二百五十圓▲慶北一千五百四十圓▲慶南一千七百八十圓▲黃海七百六十圓▲平南一千三百十圓▲平北七百八十圓▲江原六百六十圓▲咸南九百三十圓▲咸北三百九十圓

◆加奈陀に於て暗殺されし　湯化龍氏

◎政務總監歸京

目下出張中なりし山縣政務總監は四日朝歸任せり

◎叙位

八月三十日附左の通り御沙汰ありたり

敍正四位　第十九師團長陸軍中將子爵　高島友武
敍從四位　總督府警務總長陸軍中將　兒島惣次郎
敍從五位　總督府判事　菊地大惣治

◎增資認可

朝鮮銀行に對し

朝鮮銀行より總督府に認可申請中なりし資本金二千萬圓を倍加四千萬圓こする件は當局にて審議の結果四日附認可の指令ありたり尚ほ新株公募時日並に條件は近く發表さるべし

◎限外發行申請

朝鮮銀行にては銀行券發行漸增し三日七千八百七十四萬圓を示し四日は稍減じて七千七百九十八萬圓こなりしも保證準備限度は夙に容易に突破し七千五百萬圓を以て滿了せしめ以てその後は此券の發行による正貨準備發行の方法を採りつゝあるが目下の金融狀態より見て同行は限外發行の方針をこるの可なりこし過般當局に認可を申請中なればその指令に接し次第限外發行の方法によるべしこ

◎朝鮮物産組合成る

西伯利に軍需品供給

帝國の西伯利亞出兵擴大に伴ひ米穀を主こする軍需品の供給は地理交通の關係上朝鮮よりするを有利こすべく陸軍當局にてもその方針を執る事こなりし結果過般來三井物産京城支店の高野店長並に天日常次郎氏等はその筋の意を享け軍需品供給機關たる朝鮮物產組合を組織する事に決定各方面に交涉中なりしが最近京城は前記三井及び天日の兩氏代表こなり鎭南浦群山仁川釜山木浦の五地より代表者一名乃至二名を選出する事こなり組織成立今後軍需品の供給に統一的の活動をなすべく既に軍需米若干量の引受けをなし居れり尚組合の目的が出征部隊の軍需品供給にあるに付銀行にても金融上出來得る限りの便宜を圖る由なり

◎煙草需要好勢

朝鮮內にては八月五日より少數の例外を除き大體に於て各種製造煙草約二割の引上を行なひたるがその後の賣行狀況を聞くに各製煙業者は値上の結果若干の消費減を豫想したるも事實は然らず需要益々好勢にて東亞煙草會社工場の如き常に製造力の不足を感じつゝある位の由その原因は賣價格の引上が各種物價騰貴率より低き事並に生活難の聲は高きも一般の收入增加は煙草に對する嗜好を捨しめざるにあるもの、如しこ

◎雲山紛擾解決

電力送致期限問題に付雲山金鑛と大倉發電所間に紛擾を醸しゐたる事件は再三報道せしが最近双方共東京の岸法學博士の裁定を求むる事こなりしが同博士の裁定により大倉發電所の主張たる本年十月末日を以て電力送致期滿了こなす解釋正しき事こなり金鑛にても此上強て爭はざるべく右の結果十月末を以て大倉發電所は新安州を撤退する事こなり同時に新安州並に安州北鎭三地に於ける電氣の供給をも停止すべし

◎東亞莨所長更迭

東亞煙草會社にては今回工場長並に販賣所長の大更迭を行ひたるが鮮關係分を聞くに左の如し

濟南販賣所長	群山所長	永田櫨二
群山販賣所長	木浦所長	奧村英一
木浦販賣所長	本社秘書役	高月卯太郎
大邱工場長兼販賣所長	清津所長	淺野金吾
安東縣販賣所長	大邱工場長	村井長太郎
清津販賣所長	安東縣所長	大澤富三三
新義州販賣所長	木浦勤務	奧山武重

尚ほ新義州所長は從來缺員の儘こなりゐたり

◇政府買付米數量

農商務省發表＝米價調節の目的を以て九月十日迄に東京、大阪、神戸、京都にて內地米五十萬石を買付くることとする第一回計畫を實行するに付八月二十一日より二十五日迄に指定商人の選定を了し在米の買付をなさしめたる處九月一日迄の買付數量は二十六萬五千九百九十二石を算せり（東京特電）

◎鮮銀店長會議了

朝鮮銀行にて開會中なりし鮮內の米産地並に米の發著主要地の店長會議は三日終了各店長は四日より五日に亘り歸店せりと

◎鑛業登錄（自八月廿二日至同廿四日）

▲鑛業權設定
金鑛　平安北道朔州郡南面　二十一萬七千五百坪　永原常次
金銀鑛　平安南道成川郡崇仁面　二十九萬二千五百二十坪　合資會社秋田商會
鐵鑛　八十三萬九千百九十坪　李埼鎔、金敎商、金相顯、羅在瑀
黑鉛　平安北道江界郡化京面　十七萬千四百九十坪　岩木光五郎
銅鑛　江原道金化郡遠北面　三十一萬八千百八十八坪　高橋久吉
▲鑛業權移轉
咸鏡南道永興郡古寧面　藤田鑛業株式會社
同　黃海道黃州郡黑橋面　同　西崎鶴太郎
▲鑛業權消滅
忠淸南道扶餘郡鴻山面　殷榮

◎村田少將出張

總督府附武官村田少將は往復五日間の豫定を以て軍隊視察及び地理實查の爲め仁川、木浦、群山、大邱、釜山、馬山の各地方に出張を命ぜられ四日朝出發せり

人事消息

▲十時米次郎氏（總督府農務課囑託技師）二日附往復十日間の豫定を以て秋蠶狀況視察の爲め黃海道平安南北道管內へ出張を命ぜらる
▲石塚清氏（同地質調査所技師）四日附二十五日間の豫定を以て東京京都福岡の二府一縣へ出張を命ぜらる
▲高武公美氏（全南第二部長）八日朝南大門發列車にて任地へ赴く筈
▲鮮銀群山支店長　四日朝退京
▲鮮銀仁川支店長　同上
▲原辰巳氏（中村組營業支店長）四日朝入京天眞樓へ

茶前酒後

◆レニンの末路が、マラーの最後に似たるは、奇ならずとせず。然れども女刺客が、果して女丈夫コルデイの如きか、否かは知らず。

◆ジヤコバン黨の首魁として、虐殺の讃美者として、豪放過激、其主義の爲には、實行の手段を選ばず。萬人の怨府となるも、毫も屈せず、威望赫々一世を壓せしマラーも、窈窕花の如き、二十五歲の女コルデイの短劍に斃れたり。

◆露國過激派の首魁として、露國の破壞者として、一代の變改者として、一世を驚倒せしめたるレニンも、少女の銃彈に倒れたり。前露帝を、恰もルイの如く取扱ひたる過激派は、其首魁を恰も、マラーの如き最後に終らしめたり。豈之も奇ならずとせんや。

◆露國の革命は、益々佛蘭西の革命に似たり。而も下級社會の跋扈横暴に對し、中流社會の閉塞せる其中命をして、愈々剛暴殘狠たらしむるに至れり。セミヨノフ健在なるも、未だボナパルトに比すべくもあらず。

◆遮莫、彼の意氣は愛すべし、壯とするに足る。彼や既に麾下を提げて、露支國境を突破して、懸軍萬里ボルジヤに陣し、兵を二分し先鋒はハクデラクに迫り、其別働隊は挺進して、オロ井ヤンナヤに到り、遂に過激派軍に對す。勝敗は兵家の常、期すべからずと雖も、其の後陣には、之を助くるに無双の精兵あり。セ軍亦チエック軍に劣らざるの、勇戰奮鬪を見ん。

◆獨逸のミリタリズムは、遂に曠世の文豪の銅像迄も鑄潰して、戰爭の武器材料たらしめんとす。即ちミユンヘンに於る、シルレル、ゲーテ等の銅像も、遂に近く熔解の悲厄に遭ふべしと。獨逸は戰爭の爲には、總ての物を破壞せんとすべし。而して結局は、其の聯邦をも破壞するに至らんか。吾獨逸は遂に、孤立の悲運に遭遇すべし。

◆列車爆進中に、危險を恐れて軍隊逃走して、大衝突を惹起せり。嗚呼何たる無謀ぞや、無責任ぞや。吾人は近時個人主義の、隨所に出現するを、嘆ぜずんばあらず。軍國の今日、一層の嘆を深うせざるを得ざる也。

商業登記公告

株式會社第一銀行ハ大正七年八月貳拾壹日京都市下京區東洞院通六角南入御射山町拾參番戸（大正五年拾貳月拾九日設置ニ係ル分）ノ支店ヲ廢止シタリ

株式會社韓一銀行支配人具滋旭ハ大正七年八月拾六日其ノ住所ヲ京城府昭格洞百四拾貳番地ニ移轉シタリ

右大正七年八月貳拾八日登記

商號新設。京城印刷所活版部營業ノ種類石版、活版、コロタイプ寫眞版、諸印刷、製本業。營業所京城府旭町貳丁目拾番地、商號使用者ノ氏名住所同所宗像イツ

商號京城印刷所ノ使用者宗像イツハ大正七年八月貳拾六日營業所ヲ京城府本町五丁目七拾九番地ニ移轉シタリ

商號龍山倉庫金融株式會社。本店京城府漢江通拾壹番地。目的倉庫業並金融業。設立年月日大正七年八月拾八日。資本ノ總額金貳拾萬圓、壹株ノ金額金五拾圓、各株ニ付拂込ミタル株金額金拾貳圓五拾錢、公告ヲ爲ス方法京畿道內ニ於テ發行スル新聞紙ニ揭ケ之ヲ爲ス。取締役ノ氏名住所京城府漢江通[illegible]番地鳥飼武次郎、[illegible]。監査役ノ氏名住所[illegible]。支配人ノ氏名住所[illegible]

右大正七年八月貳拾八日登記

右大正七年九月二日登記

京城地方法院

◎◎◎◎殖産銀行株
好出合有之候
賣値貳拾八圓
買値廿七圓七拾錢
去る三日の入札値段は株數の爲め突飛値段を現し其昨今の相場は前記直段を得最も公平に御座候間多少に不拘御用命願上候
公債株式現物賣買
新田耕市商店
京城櫻井町一丁目
電話（五七〇番）（一八八一番）

◎產婆看護婦募集　規則書要郵券
福岡市外水茶屋町　福岡產婆養成所

品質本位絶對保證
リツチタイヤー
切見本及目錄進呈
REGISTERED TRADE MARK No.53079 "THE RICH TYRE" DURABILITY
發賣元　木村商店

汽車發着時間表　大正七年七月一日改正現行

◇浦鹽チエツク軍本部……金谷從軍記者撮影

西伯利從軍記

▽劈頭第一の戰闘 —クラエフスキー驛附近の激戰—

統領カルムイコフ大尉は乘馬も棄てて逃出した

從軍記者　金谷眞

わが軍が沿海州に旭日旗を飜へして以來劈頭第一の戰闘は實にクラエフスキー驛附近の激戰がそれである、クラエフスキー驛は浦鹽から日本里數で七十五里程烏蘇里線の興凱湖東方の平地である、最初ベエラヤ川左岸の地に據つて居た英佛軍、チエツク軍及びカルムイコフ枝隊の露軍は先づアントノーフカ附近でその右翼を摑かれた」カルムイコフ大尉は從來セミヨノフ大尉と共にホルワツト一派の勇敢な統領であつたが廿一日の拂曉不意に約五千の敵に包圍され統領は九死に一生を得て退却した、何分此時敵は非常に近く接近して居たのでカルムイコフ大尉は乘馬をも棄てて逃け出した、すると副官が自分の馬を統領に貸して副官は徒歩のまゝで退却した程の混戰であつた、右翼が斯る形勢にあるのでそのずつと前方に出て居た左翼の佛軍は急遽ドホーヴスコーエ驛に退却したのである

▽敵の奸計 許斐大尉の勇死

許斐大尉は二十四日未明ドホーヴスコーエ驛東方の河岸を超ゑて勇敢に進撃したところあの附近は一帶の濕地であつて水草の生ゐた平地は腰までも泥濘る程であるから餘程困難して居た、大尉は茅原の中を掻分けつゝ愈々敵前に間近くなつた時、敵は不意に白旗を揭げた、大尉の中隊は敵が降服するかと思つて前進すると再び不意に機關銃の猛射を浴びせかけた、此の時大尉は勇敢敵に突撃し遂に敵の手榴彈に殪れた

▽猛射に屈せず 裝甲列車を捕獲

第〇〇聯隊第十二中隊長大尉西田近雄氏（三）の指揮する部隊はドホーヴスコエ驛を出發して鐵道線路の西方を潛行し敵の背後に出てクラエフスキー驛の南方三四節處の線路を破壞した、此の邊は興凱湖畔一帶の沼澤地である爲め前進に非常な困難であつた、敵の裝甲列車は俄に退路を斷たれた爲め死物狂ひとなつて猛射し我軍は泥濘腹を沒する間に立つて忽ちに四十餘名の死傷者を出だした、しかしながら遂に屈せず列車を捕獲したのは痛快の限りであつた

▽一芝居打たチエツク軍 —日本人と見ると敬禮する 彼等の首腦は回天の志士—

浦鹽に來て自分はいつもチエツク兵の敬禮をうける、街路を步行する時、馬車を驅る時、カアキ色の軍服に赤白の徽章の軍帽を冠つたチエツク兵が常に鄭重な擧手の禮をする、軍人でない自分が這麼敬禮を受けては甚だ擽たい氣持がせんでもないがチエツクの方では相變らずやつて與れるから仕方がない、チエツク兵は一見露兵と異りがない、彼等は墺國のボヘミヤ附近にあつて同じスラブ民族の露國を敵にして潔ならず遂に極東から西部戰線に大迂回を試みんとしたのである、而して途中

不圖浦鹽で旗を擧げたのは

一芝居打ち中てたものとも云はれる、無論チエツクを檜舞臺に起たしめたとには相當黑幕もあるだらうが、兎に角米國が急遽チエツクを援助せんとし日本も亦同じ理由の下に出兵したのは世人の周知のことである、浦鹽に於るチエツク軍は去る六月二十九日此の地の過激派を倒して以來大勢力を得た、彼等の勇敢なとや軍規の整然たる事は實に敬服に堪へざるものである、去る八月二十四日クラエフスキー附近の戰闘に於ても彼等は勇敢に戰つた、彼等は

わが大井師團の來著する迄

ネウイヤギナ驛附近を頑強に守つた、其後の戰闘に於てもなか〳〵堂々と戰つて居る、元來祖國を有たぬ彼等は今ではその主腦が浦鹽にあるといつてもよからう、浦鹽の本部にはチエツクの國民協會議員なるものがあつて議員は將來チエツク國といふものが出來た時の宰相大臣となるべき人々を網羅して居る、浦鹽附近のチエツク軍は先般まで約一個師團の兵力であつた、併しその一部を西伯利亞後貝加爾方面のチエツク軍（一個師團位）と合する爲め逐次東淸線により哈爾賓經由滿洲里方面に移動しつゝある、烏蘇里方面のチエツク軍は

ジードリツクス中將が指揮官

となつて居る、中將は頗る頭腦の明晰な人でその戰さ振も堂々たるものであるが目下は哈爾賓方面に行つて居る、浦鹽のチエツク兵に君等は再び佛蘭西に行つて西部戰線に起つかと訊いて見ると彼等は異口同音に答へて曰く『只これマサリツク博士の命に從ふのみ』とマサリツク博士は實に彼等の崇拜の的となつた人で今ではチエツクの軍事行政最高の指揮權を有つた人である、博士は先般東京の帝國ホテルに姿を現はしたともあるが今は確亞米利加に居る筈、ウヰン大學の教授で

多年チエツクの獨立を企圖

した温厚篤實の志士である、それでは極東に踏み止まるかと聞くと『我等は自己の國土がある、何も好んで西伯利亞などに居たくはない、われ等は唯自國の獨立を圖つてゐるので決して懷かしい故鄕の地を棄てたくはない……』と御尤もの次第である（八月二十六日記）

○義勇兵となつた伯爵の甥 佛國戰線で負傷し療養の爲歸朝

二日午後シヤートルより横濱に入港したる日本郵船會社汽船熱田丸一等船客中に加奈太義勇兵の軍服を著けたる年頃三十七八歳の好男子なる一人の邦人あり同人は伯爵鍋島直正の甥に當り諸岡幸丸と稱し現に加奈太步兵第五十聯隊の曹長なるが同人は千九百十六年一月入營九月二十六日以來三ケ年間佛國戰場にありてカルムイに於るアラス、ゴビンイ、デミリシー等に轉戰し最後にデミリシーの戰ひに於いて右腰部に敵彈の貫通銃傷を受けたるが今回は療養の目的を以て加奈太コンネツシの陸軍病院に入り歸朝したるなりと（東京特電）

○命令に背けば銃殺 —聯合軍の統一を圖る爲め— 大谷總司令官の布告

浦鹽歸客の談に據れば浦鹽派遣軍司令部にては近來馬賊が往々我後方勤務の諸沿線を脅かして所在の軍需品を掠奪して更に支那人朝鮮人にして過激派の振撒ける莫大なる金額に

★買收 され探偵となつて我軍の行動を偵察するものあり又烏蘇里沿線の土人は多く護身用の銃器を所有し表面軍人を裝ふも內心は測るべからず何時敵と通じて我軍に對し

★危險 なる振舞に出づるやも測り難きに鑑み安寧秩序保持と軍機の漏洩を防ぐ爲め全然警察權を軍司令部にて執行するを便利とし早晩實行さるゝもの、如し又聯合軍は各國兵を

★合同 せる爲め往々不規律にして命令の統一を缺く愛ひあり依て大谷司令官は號令の嚴命徹底を期する爲め司令命令に服從せざるものは銃殺すと布告し以て軍紀の廓淸を圖れりと

○不便になつた汽車旅行 運轉時刻變更の影響

寢臺車も食堂車も當分は連結せぬ
是から本線は一層困難するだらう

五日の夕刊記載の如く滿鐵京城管理局では時局の要求により九月九日から淸野線を除く各線の客車及び混合列車の從來の定時刻運轉を休止し昨紙掲載の如き時刻表によつて列車の運轉を行ふことになつた今回の變改によつて一般に

▽著しく影響 するのは從來二回であつた釜山京城間の運轉が一回となりその運轉時刻が甚だしく延長されたことである、即ちこれを南行列車に就て見れば從來南大門驛を午前八時四十分と午後七時五十分の二回に發して約十時間で釜山に著く急行列車と午前十一時三十分南大門驛を發し十八時間目に釜山に著く混合列車が無くなつて午前九時二十分に南大門驛を發し翌日の午前三時五十分に

▽約二十時間 を費して釜山に著く列車と滅多に運轉されぬ場合が多からうといふ不定期の列車が一回あるだけになつた、それから南行の午前八時十二分著と午後四時五十三分南大門驛著同五時廿分發は乘降共に一寸面倒だらう次に從來九回往復だつた京仁間が

▽朝夕の二回 往復になつたのは特に注意すべく斯んな風で各支線は何れも一回往復に限られることになつた、亦變更時刻によつて運轉中は寢臺食堂車共に聯結せぬことになつたのは旅行者には打擊だらうが、今回の時刻變更で從來の定時運轉でも可なりの混雜を免がれなかつた朝鮮鐵道の本線は更に

▽一層の混雜 を呈するであらうが然しこの變更時刻運轉期間は餘り長くない由である

○殉戰勇士の遺骨が小倉に著いた……

西伯利の野ウスリー附近の劈頭戰に於いて名譽の戰死を遂げた許斐少佐（環）砂本特務曹長（槌太郎）以下廿二名の遺骨は三日午後二時三十分小倉に到著した遺骨は何れも白木八寸形位の杉箱に納められ功績の香も高い少佐の遺留品の軍帽肩章から拳銃双眼鏡其の他遺留品の絆に至るまで又砂本曹長の背嚢飯盒日記等は謹詣の容箱に這入つてゐた二十四名の氏名は左の如し

歩兵第十四聯隊第十二中隊長 歩兵少佐 許斐環
同第五中隊 特務曹長 砂本槌太郎
第十中隊 一等卒 高階嘉吉
第十二中隊 同 澁谷市之丞
第五中隊 二等卒 小長光久藏
第十二中隊上等兵 廣島作五郎
同 一等卒 廣村初太郎
同 二等卒 原田實
同 一等卒 渡邊茂
同 安田市內
同 大濱安之助
同 齋藤房治
第十一中隊 田中喜叟
第二十四聯隊第十一中隊 田村熊雄
同 上等兵 濱田重雄
同 鎧田吉造
同 石橋長藏
同第十二中隊一等卒 今村初太郎
同第三機關銃隊同 佐志末次
所屬部隊不明同 横尾治藏
同 二等卒 中村悅人
工兵第十二大隊 的中正六
同 上等兵 坂本千代松

▽海岸の野花を硝子罎に活けて靈前に

戰死者の遺骨を積載し歸來せる御用船〇〇丸船長の談に曰く『勇士の遺骨を載せて歸ることは

◇全く咄嗟 であつた出帆の日戰地から十數名の將校が自動車を驅つて馳附け遺骨を本船に載せて送還することであつたから本船では高級船員十名甲板に整列して之を迎へ船內に安置した次第で咄嗟の場合とて靈前に供へる花を購ふ間もなく船員をして

◇浦鹽の海 岸から名も知らぬ草花を摘ませ之を硝子瓶に活け有合せの林檎を心許り供へたるのみであつた斯る急場の事故居留民其他誰も此勇士の遺骨の本國に送らるゝを知るものはなかつた次第である』と（門司）

▽廿四聯隊の戰死者

一日クラウスキ野戰電信局發電出征第十二師團司令部より留守第十二師團司令部に福岡步兵第廿四聯隊の去る二十三四兩日の戰闘に於ける戰死者氏名を報告し來れるが左の如し（前記遺骨到著の氏名中に在る者を除く）

軍曹 橋本健次
伍長 石橋清三郎
同 船越孫一
同 兒島吉之助
上等兵 中村實
同 青木哲雄
同 川原次郎
同 篠崎佐一郎
同 芝田利助
同 日野甚七
同 横尾治藏
同 馬場虎市
同隊所屬輜卒 關完

以上十三名と前頭小倉步兵第十四聯隊の小長光久藏齋藤房治の兩氏と同上廿四聯隊の八名と同上北方工兵第十二大隊の三名の合計廿五名が從來報道せられざる戰死者氏名にして既に報道せられたるものは十四聯隊の二十一名なれば此の合計は四十六名にて曩に陸軍省公報が二十三四兩日の戰闘に於る戰死者數五十餘名と發表したるものとは合致せず生存者あるが如くに考へらる、も留守師團にて之を以て多分終結したるものと思はると云へり（門司）

○負傷者が還る 來る十日頃小倉に

去る二十三四日の戰闘にて負傷せる將校下士病兵等百五十名十日頃小倉に歸還すとの報あり（門司特電）

○廉賣米 値上げ 五日から實行 一升につき二錢宛

京城救濟會に於ける九月三日拂ひ廉賣石數を聞くに石不拔米百八十一石五斗三升、外國米六十六石九斗四升、粟四十九石二斗九升を示し前日に比し石不拔米一石八斗の增、外國米五石一斗五升の減、粟一石六斗の增加を見たるが五日より廉賣價格を變更し石不拔米及び外國米に於て一升に付二錢宛の値上を實行する筈即ち其價格左の如し

石不拔米 一升 廿八錢
外國米 一升 二十錢
粟 一升 十三錢（從前の通り）

○三木少尉の負傷は思つた程重くない

烏蘇里戰線に於て名譽の負傷を爲し目下ドスイギヤナ野戰病院に加療中の三木少尉より釜山西町の友石川少尉に宛てたる書簡の一部には

八月廿三日拂曉將校斥候として服務中散彈右胸下部より大腿下に貫通し辛うじて任務を果して敵壘を脫し我軍に收容されたり目下右手不隨なり云々とあり豫想程には重傷にあらざる模樣なり（山）

○三菱製鐵三萬圓寄附 全道に於ける細民救濟の爲め

三菱製鐵會社にては目今諸物價昂騰の結果細民生活の辛苦甚だしきものあるを思ひ今回朝鮮全道の細民救濟の爲め金三萬圓を寄附し度く四日朝同社京城出張所主任大出陰氏外一名總督府に宇佐美內務部長官を訪問し申出でたるが其配給方に就ては之れが處置を總督府に一任せりと

○樟腦工場燒く 今尚燃燒中

臺灣總督府經營の樟腦工場は三日出火し今尚ほ燃燒中なりと（東京特電）

○馬山の電線切り 犯人二名逮捕さる

既報馬山に於て電話線を切斷せし兇漢は慶南昌原郡河奇童（二）馬山府李仁兆（二）の兩名にて共に前科三犯の惡漢なり事判明北面地方に潛伏せるを三日馬山警察の手に捕縛されたり（馬山特電）

秋口の寢冷には恐しい

熱い〳〵と云ふもの、朝夕は非常に冷氣を帶て來た、此頃は氣候の變り目で、從つて其の影響はヒシヒシと身體にも及ぼす譯である殊に夜中には幾度か

▽氣候の上 に變化がある、寢ることは大分暑いから寢苦しいと思つて、被物もせずに眠る、眞夜中頃には冷々して來る、大人なら此時分に眼を覺まして被物でもして溫まればさしたる害はないが、子供には直に夫が寢冷となつて

▽病的變化 を起して來る、乳兒に於ては夫れが一層烈しい譯だが、幸ひに乳兒は腰から腹部から厚く襁褓を卷きつけて在るので、比較的乳兒には其の害が少いが、と云つて決して油斷すべき事でない、醫師に聞くと乳兒にも大分秋口の寢冷から起つた病氣があるが

▽二三歲の 幼兒から幼稚園時代の幼兒には尙ほ之れが多いと云ふ事である元來七八月の炎暑の頃には同じ寢冷をしても今頃程ではないが、涼風の立つた秋口には寢冷から高熱を發し、腸胃を害して、甚しき疫痢症狀を呈するやうになる故に、暑いと思つて寢ても

▽絕ず警戒 して居なければならぬ又寢冷と食物とは大なる關係があるので、何か不消化物を食るとか又は過食するとか、胃腸を害して居て控へ目に食なければならぬに通常に食たとか斯ういふ時に寢冷でもさせたら、多くは腸の病氣を起して來ると小兒科の醫者は注意した

○松茸の走り　平北定州附近にては十數日前既に初茸發生し近々同方面へ初茸狩の遊山客多く、附近小學校生徒などは籠一杯位の採取を爲し居るものさへありとの事なるが目下の處一個として出噴ひのものなき模樣なり（定州）

○盲啞部の講演　本社旭山源光氏は濟生院盲啞部長大塚不破氏の請ひに依り四日午前盲生のために時局に關する修養講演をなし多大の感動を與へたるが最後に生徒總代の流暢なる國語の謝辭ありて十二時閉會せり

○總督府電話交換手採用　總督府にては年齡十五歲以上二十歲迄にして電話交換に經驗あり身體强健京城市中に確實なる身元保證人あるものを採用する由なれば志望者は自筆の履歷書携帶同府會計課用度掛に出頭すべしと

緩衝機（投書歡迎）

活動税　紅天狗

◆米價は一旦下がつたが復ち四十錢に卻れ返へつてジリ〳〵やり切れたものでない。救濟會といふものゝ一層の活動を祈る次第である。
◆かうして廉賣米が盛んに賣れる一方、活動寫眞だとか芝居だとか言ふものも景氣が決して惡くない。大正館の松之助や有樂館の西洋物は不相變の大人氣で常時も滿員。悲慘な細民の生活に引換へて、何さま千差萬別な有閑民達で彼等はある。
◆其處で吾人は考へた。彼等活動館の觀客を十分に入場料を拂ひ得る人達ばかりである。細民の爲に米を買ふ事が出來ないと困つたり、米價が騰つたと言つて苦狀を並べる様な人達でなく、悠くり生活して行ける餘裕のある連中である。まさか米が質に置いて行くものもあるまいから。
◆斯うなると、そんな有益な人達から細民救助に幾分でも附して貰つたらこれは又結構なことではあるまいか。茲に於て『活動寫眞稅』なるものを設けて
第一條　活動寫眞の觀客には左の區別に依り活動稅を課す
一等　二十錢
二等　十錢
三等　五錢
といふ條文でも置いたら、至極妙だらうと思ふ。
◆この稅を徵收して救濟會へ寄附することにしたら細民も非常に感謝することであらう。又三等席の觀客がたつた十錢位三十錢位を負擔するのは至極輕い事であるし、三等席の客でも、十五錢も出して見物に行ける位なら、座布團一枚を倹約すれば五錢位は出るのだから、これ程の負擔は何でもあるまい。
◆落語でも何でも娛樂機關の入場料に右の例に依つて稅したら面白いのだらう。貧乏人で粥を啜つてる人達はこれを見物には行けないから、この課稅は甚だ穩當な、然も時節柄最も適當な措置であると思ふ。如何だ、妙案だらう。

廉賣米　無名氏

◆廉米は施米を望むものは中流以下の生活をなすもので何にも上等米を需用する必要のないに係らず廉米や施米のため上等米が組易く得られるため今迄下米が用ひて居りたるものが上等米を用ひて居りますが上等米を用ゆる様な良くなりませるか、是は上等米が不足することゝなり隨て上等米の値段を高めることゝなると思ひますから施米は鮮米と外米の混合とし施米には一段落として外國米と粟麥等のみに限ると變更せられた方が適切であらうと思ひます先づ廉米の品質も大に落とされたと云ふことでありますが尙ほ一層落さすが宜しからうと思ひます何も義捐金を以て一等米を需用する人を保護する必要はあるまいと考へます
◆序ながら米商が米を隱匿すると云ふことは私は信用せずに居りましたが先日馬車二臺に白米三十叺計りを豫想外の場所に倉庫もなく物置もなく近所は陸軍向きの勸人倒りで家賃とすれば五六圓の長屋の中へ積込みするを見掛けましたが是が密惜であるかなと思ひました

◆藝演◆

▲黄金館　五日より新寫眞と差替へて主なる寫眞は新派悲劇例の如く連續活動寫眞殿中双街、第十一百萬弗の秘密、舊劇道中膝栗毛等なり
▲壽館　浪花節東洋軒雷右衛門及び三升家華城一座にて四日より開演の筈
▲有樂館　第四の隣人、夜明け前、訓の臨等の西洋物歡迎にて開演中
▲大正館　六日まで舊劇岡崎平之丞連續活劇秘密の王國、新派悲劇時の仇浪、餘興英人デザイスの曲技、評判落語にて開演
▲浪花館　東京落語橘家圓坊及び長唄杵屋勘左衛門一行にて開演の筈

不思議に效く 乳の出藥
赤兒を育てるには母の乳に限る
時は今！！
乳の出る良藥乳の母の服用期
■ハガキ一枚にて養生法無代進呈
母として可愛い幼兒を育てるに自分の乳が出ないほど悲しい事がありませうか、牛乳やミルクで育てるには莫大な金錢や非常な手數が要りタトイ是等を代用することしても夏分は、腐敗し易く、寒い時の加減は思ひもよらぬ難儀にて又腸や胃に色々な病を起す危險があつて赤兒は十分發育が出來ぬ許りか、日に日に細る一方です
■高いお金で反つて
■赤兒を弱くする
何と氣の毒ではありませんか、それ故赤兒を育てるには、如何しても（達者な母親の乳に限る）と專門の大醫が口を揃へて唱へてをります。廣い世間で産後乳が思ふ様に出ず平常絕ゑず不足勝で隣近所で貰ひ乳をしたり牛乳やミルクを代用して人知れず泣き暮して居る方は定めし多いでせう

■この不幸な人々を
■救ひたい一念から
多年苦心を重ねた結果今度初めて不思議によく出る妙藥乳の母を發見しました、平常細き方は一週間用すれば牛乳ミルクも忽ち不用となる猶ほ此の（乳の母）は乳出るだけに止らず母親の身体をも强壯にする他の藥の到底及ばざる未曾有の發見藥で有る、殊に
■乳の母の實驗者は
■百人が百人共出乳し本舖に寄せられたる禮狀を机上に山をなして居る實は急げです幼兒のために難儀をしてゐる方は一日も早く左記へ新聞名記入（ハガキ）申込になれば誰れにも解る委しい說明書を直樣御送り申します
■乳の母定價■九日分壹圓五拾錢
■三週間分參圓■六週間分五圓
■小包送料內地八錢海外三十錢
■乳の母入用の方は直接本舖へ御注文（僞物あり乳の母に注意）
大阪市東區東雲町停留所前
東京下谷西町二井上神社側
乳の母發行所　いづみや藥房
（振替大阪三三一三三八番）

仁川期米（四日前場）……後場先限　一節二十四圓十四錢　二節二十三圓四錢　三節十四 ……平均値段 一節 二十四圓十三錢　二節 二十四圓十四錢 ……[illegible]
氣象報　九月四日午後……[illegible]
光館　天氣 小雨 ……（四日午後六時より五日午後六時迄）……[illegible]
日出 日沒 ……仁川 滿潮 干潮 ……[illegible]

一葉商會活動寫眞特別興業 入場料……[illegible]

◎四日の十一月限 [illegible] 四十錢東京北八十六錢の入電に揚し十八圓三十伸したるも買物に六錢に押し七錢と返して打止めたり

後場 寄付 十四圓十四錢 高値 十四圓十七錢 [illegible] 安値 十四圓十二錢

大連より

◎滿鐵及び關東都督府主催南滿教育展覽會は八月三十一日を以て豫定の如く閉會せられたり

◎同展覽會に於て特に吾人の注意を惹きたるは其參加學校が日本内地及び臺灣、北海道、樺太、朝鮮、南洋、青島、北米各地移住民學校及び支那各地に亘り頗る廣汎なりし事

◎從つて其の出品數は甚だ夥多なりし事而して此の何十萬點を算する出品が殆ど千遍一律にして觀覽者をして特に注意研究に値する者の少かりし事多少注意を惹き研究に資したる出品は何れも大連旅順の感あり觀覽者をして比較研究を爲すに不便なりし事

◎出品の陳列方法が各地方別にして一校宛雜然と併列稽堆したるか等の出品なりし事

◎會場が市の東西四個所に區別隔離して觀覽上甚だ不便なりし事地方よりの觀覽者は不案内の爲め其の一二を見て三四を見ざるを如き例少からざる模樣なり

◎會期僅に七日間にして而も暑中休暇の終期に近き八月二十五日より同三十一日迄とせる爲め滿鐵會社が舟車の割引券を發行せるにも拘らず遠隔よりの觀覽者は殆ど絶無にして僅に東清沿線の露國人及び吉林奉天省等の支那人の來觀人を參看させるのみ

◎會期中三十日に於て南滿洲教育會總會開催せられ旅順大連の教育家の會合を背景とし活用すべき何等の會合も催せられざりしは吾人の特に遺憾とする處なりき

◎然らば同展覽會は其の豫期する處の成績を收め得ざりしかと云ふに決して然らざるもの、如し

◎特に第四小學校に陳列せる社會教育部及び參考品陳列所等一般公衆を啓發する事頗る大なるものあるべし

◎陳列方法其の宜しきを得ず各科に就きて比較研究の便宜少なかりしも日本内地各同等學校の生徒成績品の多數を以て在滿洲學生の成績品に比すれば遙に内地各學校の秀優なるを認め得べく以て大いに鞭撻策勵する所ありたるべし

◎單に經費の夥多と設備の完全のみが優良なる生徒を作り得べしと自他を欺き居たる在滿教育關係者及び父兄に大なる覺醒を與へたるもの、如し

◎同展覽會に於て最も一般の注意を喚起すべき筈の支那人教育展覽場が甚だしく閑却せられたる傾きあるは甚だ遺憾とする處なり

◎同會場に陳列せれたる都督府及び滿鐵沿線各公學堂生徒の成績品中日本語の成績の甚だ不良なる其の教授に充分の力を注がざる處ありしは吾人の甚だ遺憾とする處なりき

◎要するに南滿教育展覽會が昨年來の不[illegible]街に由り滿鐵部督府協力の

◎廉賣と小賣商

それが爲の打撃は大したものでない賣れては却て困る

仁川救濟會が廉賣を開始して早二十日許りになる其間に色々制度が變つて今日では鮮人に對しては賣券を發行する制度となし内地人に對しては各官衙の團體申込をも受け付くる樣になつて購買に便する事になるだけ販賣石數は日に增加し一方となつた廉賣所が愈う

◆繁昌 すれば之に從つて市中の小賣白米商がそれだく多く響きを受けはせぬかとは誰もが想像する處である然るに實際は左程の事はないとは不思議である第一内地人が購買の趾かつたのは態々救濟會と書かれた廉賣所に行くのが恰好が惡いと云ふに原因してゐたが今ではお役所會社で望みの者は纏めて申込が出來るので大抵の家庭には此廉賣米が這入つた事になつて居る然らばそれだけ

◆小賣 屋の米は減つた事になる譯だから相應に打擊もあるべき筈だがそうでない有體に云へば小賣屋の方では賣れぬ方が好いと云ふ目下の精米筋の白米相場は四十一圓でないと小賣屋は買へぬ相場になつて居るそれを小賣白米は特等四十錢で賣つてゐるから小賣商店では差引一圓の損になる損をする値段で何故賣るかと云ふと此節の米價に精米屋が四十一圓だからと云つて直に四十一錢に小賣値を上げる事は一寸氣の毒だと云ふ小賣商店の意氣張りがあるから

◆餘儀 なく今日でも四十錢で賣つて敢て値上をしないのであるが之が僞若し今の小賣値で多く賣れたら却つて目の前の大損をせねばならぬから先づ成るべくならば賣れぬ方が却つて宜しいとは成程理窟である内地人の小賣商專門の家では隨分困つた處もあるに相違ないがそれは廉賣所の爲では無くて一般米價相場から來た今日の苦痛であらうが先づ之で新穀出廻り期迄は押し通すのださうである今日の樣に鮮人側に對しては鮮米の廉賣をせぬ樣になると鮮人相手の米屋或は鮮人經營の小賣商などは左したる影響は受けぬ事になる何故かと云ふ迄もなく鮮人の内にも其大部分は矢張り鮮米を喰つて居るからである(仁川)

より同二十日までの合計なり

精米(計 三三九石)

安東縣	二三三〇	公主嶺	二五五
奉天	四二三	長春	一八〇
哈爾賓	二七	本溪湖	六〇

玄米(計一七八〇石) 安東縣 一七八〇 外なし

籾(計二〇〇〇石) 安東縣 二〇〇〇 外なし

計六千三百二十九石なり(新義州)

◎釜山米の新註文

最近に其筋より七千石の註文を受け居たる釜山精米業組合にては交渉中なりし第二回買入米を諸入費を控除して卅九圓七十錢見當にて又復三千五百石の註文ありし由(釜山)

◎釜山の在米

釜山方面より奧地及び鐵道沿線に亘る米雜穀買付數は卅日現在玄米十六萬四千五百六十八個の外如左(釜山)

白米	廿一〇六	大豆	三三六〇
小豆	二四八	籾	二一四
麥	九二九七	碎米	四〇五

◎鐵道廻の在米實數

滿鐵調査=十萬六千餘石

合計(四萬八千五百餘叺)を示す平南線玄米(三萬三千三百叺)なり

今回穀物の釜山港廻著少きより一般市場の値段を高め且又其れが故に市場に自然買入氣の顯はるゝは爭はれざる次第と云ふべし依つて釜山米穀商一般仲買人は釜山商業會議所の手を經て滿鐵會社の廻り輿地買附品の輸送方を申出でたるが今全線に渉る買附品所在地を示せば京釜線玄米十一萬八千叺、白米三千三百叺、大豆大麥八千八百餘叺、合計十三萬一千叺にして重なる在品左の如し

倭館 七、〇〇〇 鳥致院 一五〇〇〇 大邱 九三〇〇〇 金泉 六六〇〇〇

等にして此外各線の分左の如し

此外馬山線玄米(三百叺)小麥(四百三十叺)合計(七百三十叺)湖南線籾(二萬餘叺)玄米(三萬叺)大豆其他(一千叺位)合計五萬一千叺とす京義線は玄米(四萬四千五百叺)大豆其他(四千叺)故に全線を通じて二十三萬五千叺即ち概算十萬六千餘石の買附米あるを以て決して米穀の不足とは認められずと(釜山)

◎群山と調節策

既報の如く群山穀物調節會は九月二日群山米穀商組合總會開催附議したる結果其設立を見ると共に委員十名を選定し實行案總ての議定を委託したるが三日米穀組合事務所樓上に於て委員會を開催し審議したり(群山)

◎平北と滿洲輸出米

平安北道各地より滿洲方面に送附したる米穀數左の如し但し八月三日

戰塵

★セ軍のみと知るや

俄かに盛り返して包圍す

退却したる敵軍は最初セ軍及びチエック軍若しくは日本軍が進擊し來るべしと豫想し居たりしが其の進擊が只セ軍のみなるを知るや、セ軍を邀擊すべく部隊をチロウヤンナヤの本陣より出動し、其の前哨は裝甲列車に大砲を搭載して進みと同時にブイルカよりの別部隊はボルジヤ河に沿ひアリブスク及びチンダント(ボルジヤ河の上流乃ち鐵長線路の南方)を迂回してボルジヤのセ軍の左翼を襲ひ之を包圍せんとす、又別報に據れば敵軍の斥候騎兵はソクトイ(ハラノル、ボルジヤ間)乃ちボルジヤの背面に現はれたりと(滿洲里)

★ハイラルの戰

逆襲に轉じたる敵軍との第一回前哨戰はハラノル驛附近に於て行はれ、蒙古ブリヤート聯隊の砲兵半個中隊は最も勇敢に戰ひ敵兵の損傷四十名あり、而も之を收容する暇なく遺棄したる儘退却したるが我が軍は輕傷者二名ありしのみ

★退却と破壞

敵軍は退却の際鐵道線電信線及び停車場内器物等散々に破壞し去れるもセミヨノフ軍は占領後一日乃至三日間内には之等が修理を爲し占領地域の交通々信は片つ端より秩序的に回復を爲し居れるがダウリヤよりボルジヤ迄は尚ほ復舊工事終了に至らずと(哈爾賓)

★尊き犧牲者

迂回逆襲の敵軍一部約百名國境マツエフスカヤ附近に現はれ、鐵橋及び線路の破壞を爲さんとしたるも爲國境守備の日本軍は之を擊退したるが其際日本兵一名戰死したり之後貝加爾戰線に於る日本正規兵の最初の尊き犧牲者なり(哈爾賓)

◎問題の今歳の炭

◇高くなる三つの原因◇

物價騰貴の聲は既に臘裡に染込んで左程耳新しく聞かないが追々寒氣に向つて來る時の第一の需要品たる木炭も矢張其例に洩れず今年は豫想外に騰貴してゐる、これについて原因を聞くと

◇◇第一は 材料の缺乏で之れは從來濫伐の悪習があつた朝鮮の山林は目下當局でも一般に十分の保護を加へて今後の増殖を企圖してゐるのであるから可及的濫伐を防止してゐるのと多年濫伐の餘波が近年めき〳〵及ぼして來たのと、この二つの爲に木炭とする材料が缺乏を告ぐるに至つたので

◇◇第二は 從業者の拂底で之も亦騰貴の一原因を爲してゐる概して云へば諸物價騰貴の波及には違ひないが要するに所謂『炭燒』なるものが毎日眞黑にして汚い勞働をしなくつても他の工場等に行つたならば七十錢や八十錢の日當には易々と有付くと云ふ處から例年の『炭燒』も大分

◇◇職業替 をしたのと農民も米は高し粟は高しそれに連れて他の作物もドシ〳〵高値で賣て行く處から農閑期の稼ぎ廻しとして從來やつて來た炭燒も今年はそこまで働かなくともと云ふ考へから炭燒に從事せぬのとこの二つが從業者の拂底を告げたので木炭騰貴の一原因たるは云ふまでもない

◇◇第三は 買占で今では大したものも聞かぬ其買占は薪入に多い樣で勿論自家の需用の爲に買置をすると云ふ目的のものもあるがそれが例年よりも遙に量が多い樣である又中には全然營利を目的として買占的の行爲が見ゆる、現に平壤でも二、三同樣の者を見受けられると云ふので

◇◇當局も 充分取締を嚴重にして訓戒を加へる方針だと云ふことである、さて値段であるが丁度現今の値段は昨年から比べると冬の最も需要の多い時機と同樣であると云ふことであるから今後何處まで騰貴するか案じらる、次第である(平壤)

◎忠南の輕鐵

群山阪上貞信氏外東京大阪其他各地有力發起人名義を以て曩に布設認可申請の手續を了したる群山の對岸忠南龍浦を起點とし忠南沿岸各要地を經て天安驛に於て京釜本線に接續せしむべき企畫八十餘哩の忠南輕鐵は其後忠南道當局に於ても申請計畫に基づき調査の結果天安驛に於て京釜本線に接續點と爲す計畫を本線を橫斷して更に十數哩安城迄延長するの有利なるを認め其旨發起人側に慫慂する處あり恰も東京滯在追願發起人の調印を求めつ、ありし阪上貞信氏は此報を得て直ちに内地各發起人に圖り當初の計畫線路を延長するに決したる由なるが阪上氏は右線路延長に關する計畫變更及び追願發起人申請書類等を携へ來る九月十五日頃歸群直ちに忠南道廳に出頭すべき豫定なりと(群山)

◎咸北の罌粟栽培

咸北道茂山郡鏡城郡奧地方に於ける罌粟の密培は近年官憲の取締嚴重にして昨年の如きは茂山郡奧地に於て數百名の密培者を檢擧するの有樣にて殊に本春は警務部に於て罌粟栽培規則を發布して之が取締を爲す事となりたるが罌粟栽培阿片製造による奇利は容易に止められぬと見ね本年も密培を爲すもの少からず今月までに清津支廳檢事局に送られ來りし者のみにても七八件に達せるが此等は何れも山奧の人跡到らざる處を開墾して之に罌粟を栽培し乳汁を搾取するものなりと

◎酒精の解禁

七月上旬支那政府は我て該國政府と締結せし酒精出入互禁を解きたるが此結果從來禁止されありし酒精類の輸出も出來得る事となりしより一時休止の狀態にありし琿春地方より露領への酒精輸出は再び盛んとなり鮮地慶興より琿春仕向けの酒精は六月中皆無なりしに係はらず七月に於て六千餘圓を唱ふるに至れり(清津)

◎滿洲と燐寸暴騰

北滿時局に伴ひ滿洲に於ける諸物資の漸騰しつ、あるは免れず就中燐寸界の如き昨秋以來更に角不振狀態を持續し來り本年夏春に於ける需用閑散季に入りては商況更に振はず同地より輸出品等も一切賣行きなく爲めに各製造業者等は何れも黄燐一箱八九圓臺にて先物賣約をなし居りしが最近時局關係の增騰の兆あるより時價俄に奔騰し小賣の如きに至つては一箱十三圓を唱ふるに至れり而も市場は品薄の狀態なりと(奉天)

◎地價騰る(兼二浦)

兼二浦に於ける地價は夏季一時下氣配にて取引捗々しからざりしが頃日來製鐵界の殷盛と相俟ちて又々上氣配となり一等地は坪三十圓を唱ふるに至れり(兼二浦)

◎南滿洲と養蠶業

南滿に於る蠶業の有望なるは何人と雖も既に知悉し一般之が奬勵に努力しつ、あるが氣候より云へば家蠶より寧ろ柞蠶飼養有望なれば支那人側は殆んど柞蠶のみなるを以て製絲上未だ精巧なる設備を有せず大連或は芝罘方面に向つて繭移出し而して製絲或は製綿され再び滿洲に逆移出さる、もの少からざる有樣なれば甚だ不利なるを認め鐵商劉忠巖等は蓋平縣に於て絲綿新興繰絲公司なるものを組織し已に其成立を見各地に宗款を送附し株式募集に着手しつ、あり其資本金は十萬圓にして一百株に分ち其株主は凡て支那人に籍ある者に限られつ、あり(奉天)

農信

◆大豆と粟(平南)

本年の大豆及び粟作況を聞くに何れも良好なるが大豆に在りては其豫想高二十四萬六千四百四十五石にして前年の實收高二十二萬七千三百八十五石に比し八歩三厘八毛の增收なり又粟收穫豫想高は七十一萬五千九百五十七石にして前年の實收高六十六萬四千六百八十三石に比し五萬一千二百七十四石の增收にして卽ち七步七厘の增收なり以上の如き良成績を收めたるは全く氣候の順調なりしによるもの多く大豆は一般に播種後降雨なかりし爲め一時生育に憂慮し居りたるも六月中旬より降雨あり以來概して氣候適順なりしを以て生育佳良を見るに至りたるが粟の生育狀態に於ても同樣氣候の適順なりしを以て增收を見るに至りたり(平壤)

◎無免許の齒醫者

何れも三十圓づゝの罰金

兼二浦停車場通り平壤藤井齒科醫院出張所新地澤造(三)同平壤岡齒科醫院出張所濱市松(四)の兩名は共に本年四月頃より許可なくして齒科營業を營み居たるため各罰金三十圓に處せられたり(兼二浦)

蠶況

共同販賣(平南)

平南成川郡成川通仙兩面に於ける夏秋蠶繭共同販賣は豫定額百五十石位になるが購入商人は片倉組平壤支店にして其時日は九月二日、五、六、十日の四日間と決定せり

◎辯護士の家にて詐欺

◇而も相手は朝鮮人◇

平壤將校洞居住の朴允國及び住所不定の張石龍の兩名は共謀して平壤水玉里碧本辯護士方に赴き我々は炭の仲買を爲し居れる者なるが今急用の爲め鎭南浦に歸宅する事とて黄海道より木炭を買入れたる處なり旅費に窮し居れば安く賣つて貰ひたしと云ひて立去りしが間もなく炭を持ち來り普通相場より安値にて二百五十貫を置きて代金を受け取り立ち歸りたるが翌日同家の出入商人某が來り炭の話より昨日の炭を見せたる處此の炭は迚も二百五十貫の目方なしと云ひ試みに量りたる處百貫内外に過ぎず且つ炭の質極めて不良にて殆んど用を爲さざる物なる事を發見し平壤署に訴へ出で同署にて前記兩人を檢擧したるが該犯人は販賣の際主人の不在なるを奇貨とし衡器を胡麻化したるものなりと(平壤)

初雪

白頭山にモウ降つた 鮮人の古老語る

此冬は例年より寒からう

最近奧地より來れる人の談に依れば八月二十三日白頭山に降雪あり日暇々たる奇觀を呈せりといへるが古老の言に依れば本年は例年より寒氣の來る事早かるべしと(清津)

◎水槽に毒藥を注ぐ

在らゆる殘忍なる手段に出づ

滿洲里露客談に依ればチエック軍は愈々近日中に後貝加爾戰線に進出し、セ軍と共同動作を執るべく

意氣衝天の勢を

示せるセ軍は連戰連勝ボルジヤを奪取し其の最前線は既に滿洲里より二百數露里の地點に進出し居るが、敵軍が

退却の際掠奪し

たる跡は慘然たるものにして鐵道電信線の破壞は勿論あらゆる器物を掠奪し木材鐵材をも持去り或は

タンクに毒藥を

注入する等遺憾なく跡を荒して立去りし爲め飲料水は滿洲里より運び居れりと(以下二百十四字抹消哈爾賓發)

◎平壤と天然痘

◇本年に入つて十七名◇

本年に入つてから今日迄の天然痘患者の數を調べて見ると總計で十七人の羅病者がある、之を年齡別にすると五歳以下が十人、十歳以下が一人、十五歳以下一人、廿歳以上四十歳迄が五人と云ふ風になつてゐるが五歳以下の十人中では二歳、三歳が最も多い、更に之等羅病者の種痘の有無を調べると總計十七人中種痘を受けたるものが六人で殘りの十一人は未種痘者であつた、然しその種痘を受けたものは生れて一回丈であつて其効力は既に消滅して終つてゐるもの、みであつて何等變りはないのである、然も羅病者の最高齡者たる三十九歳と云ふものは生後一回の種痘も受けてゐない勿論本年の羅病者は全部鮮人のみであつて内地人には一名もないが要するに之等から見ても種痘の必要なる事は云ふ迄もない事で其時機においては進んで種痘を受けねばならぬ本年の秋の種痘期は本月の下旬から施行せらるゝさうで從來も同樣ではあるが今回は尚一層取締を嚴重にして漏れなく種痘を受しむる當局の方針であると齋藤平壤警察署長は語つた

張三李四

◇十八歳の娘狂死す◇ 平南平原郡肥湖面鳴鳥里の宋龍女(一八)は先頃來精神に異狀を呈したるを以て家人も注意中のところ自宅附近の溜池に投身して溺死せり

◇水に溺れたる船乘◇ 鎭南浦碇泊中の戎克船乘組船夫支那人玉世升(三[illegible])は帆を卷き上げんとせし時綱が脂に纏り付しを直さんとして誤つて海中に陷り溺死す

◇尻を捲くつて一圓◇ 兼二浦建具職柴田久太郎(三〇)は兼二浦發官駐在所前を通行する時尻を捲くつて歩きたる爲呼止められて科料一圓の即決處分を受けたり

◇四人組の詐欺賭博◇ 住所不定の申泰載(三[illegible])李炳元(三[illegible])趙正學(二[illegible])許論洙(三[illegible])は鮮人より平壤瑞氣山にて詐欺賭博に四百圓を卷上げたる爲め捕へらる

◇貧困の爲屍體投棄◇ 平壤柳金尙浩は長男道乃(八)が病死したるも貧困にて葬式費用なく大同江上流に遺棄せしを巡回の兵士に發見され平壤署の說諭を受く

◇平壤の娼妓慰安會◇ 平壤賑町遊廓貸座敷卅軒の樓主は同遊廓の娼妓百九十餘名に對し慰安のため同地歌舞伎座に於て活動寫眞を觀覽させたりとは大出來

演藝案内

◎黄金館 電話(晝間)二二六六 (夜間)二六二七

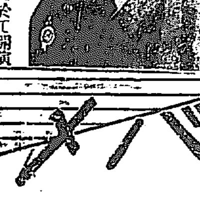
天然色活動寫眞會社京城釜山一手代理店 自九月五日より ◎連續第二公開 悲劇新派大悲劇『潮の如く』四編 大新派太郎一世一代の大撮影 此連續大悲劇が本篇に至りて如何に來るべし ◉新派 殺中刄傷 上下 長唄 吉田奈良丸撮影 上松之助出演 吉田一雄 ◉第十九回 一百萬弗の秘密 後一回秘密の大寶庫正に開かれん ◉新派 道中膝栗毛 喜多八 彌次郎兵衛

◎壽館 本町二丁目 電話一〇五〇

當る九月五日(二日目)毎日午後六時開館 浪界の名人東洋軒雷右衛門一行 △伊賀水月 △戸村傳助 △左小刀 △橘英男 △元祿武士 △水戸黄門記 (東洋軒雷右衛門)

◎有樂館

東京小林商會京城一手代理店 早川演藝部直營 活動寫眞常設館 電話(洛上)二五九七番(洛下)二二〇五番 當る八月卅日より公開のプログラム 坊ちやん嬢のお染しみお伽小犬の行衛 活劇 第四の證人 全二卷 ◎森林情話『夜明け前』全五卷 ◎人情劇『訓の庭』全五卷



獨特無比の浪花節 浪界の名人東洋軒雷右衛門來る

◎浪花館 明治町二丁目 電話二六〇番 愈々當る四日より 壽館に於て開演

◎大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 當る廿日より大貨物と大餘興 △米國キーストン會社作 △滑稽活劇『瘋癲病院』全二卷 △尾上松之助一代大傑作 ◎舊劇『幽靈半之丞』全四卷 △米國ザアイダケラフ社特作品 連續大活劇第四 秘密の王國 西印度岸の一角に起れる一大驚異 △日活東京派大傑作 ◎事實悲劇『後の仇浪』全四卷 立花貞二郎久方振りのお目見得 ◎大餘興 英國八デヴィーラス氏出演

株式會社 朝鮮商業銀行
資本金 壹百萬圓 諸積立金 參十貳萬五千圓 京城南大門通一丁目 電話五五八。長六八一・二三四番 振替京城一六〇七
一般銀行業 倉庫業
銀行長 趙鎮泰 支配人 豊田明敬
南大門支店 電話一七〇二番 振替一六〇六番
本町支店 電話二一九四番 振替三五二番
仁川支店 電話四九番
平澤支店 群山支店 利川支店 東大門支店

周易家相 京城明治町二丁目 岡村介石

藥種賣藥卸商 Ⓚ 仁川本町 北島藥店 京城本町永樂町角 北島藥店支店

醫化學諸器械一式

外科 皮膚科 內科 花柳病 小兒科 入院隨意 夜間診察九時迄 院長 正六位勳四等功五級 島崎龍一 島崎病院 本町通り左に入る 京城旭町一丁目 電話二七三六番

あらゆるもの無手數にて取扱申候 化粧品石鹼問屋 伊勢勘 大阪市南久宝寺町三丁目 振替大阪二八二五番

診察時間 自午前九時至午後六時 初診の御方は可成午前中 京城長谷川町一丁目(朝鮮銀行裏門前) シメノウチ歯科醫院 電話八一二番

◇本與行中通用◇ 京城日報社

商況

東京期米特電
三日後場 二十六圓四十八錢
四日前場 二十六圓四十錢

兵庫期米特電
三日後場 二十六圓六十八錢
四日前場 二十六圓七十一錢

大阪株式特電

	拂込額	二日後場
宇治川水	四五.〇〇	[illegible]
阪電鐵	四五.〇〇	[illegible]
東洋紡績	一〇〇.〇〇	一〇六.一〇
日清紡績	一〇〇.〇〇	[illegible]
鐘淵紡績	五〇.〇〇	一三九.七〇
阿波共同	四〇.〇〇	一二七.九〇
大阪商船	五〇.〇〇	一三六.八〇
日本郵船	五〇.〇〇	一四一.五〇
尚土紡績	五〇.〇〇	[illegible]
堂島米穀	五〇.〇〇	一二七.五〇
東京株式	三五.〇〇	[illegible]
大阪株式	五〇.〇〇	一六八.〇一

大阪三品特電
二日後場 九月限 四二〇.〇〇 十月限 …… 十一月限 …… 十二月限 …… 一月限 …… 二月限 四一九.〇〇

大阪期米特電
三日後場 止め 二十七圓二十錢
四日前場 一節 二十七圓十七錢 三節 三十八錢

下關期米特電
三日前場 唄、薄商內ながら仲惱み

	當限	中限	先限
寄付	…	…	毛二元
高値	…	…	毛豆
安値	…	…	毛二元
止め	…	…	毛元

雜報

外の高値を以つて氣取りたる向もありし模樣にて市況聊か亂調の振なり今朝は雨天の爲め賣客マバラに

商內閑散 米筋も此處一寸見送り狀態にて氣配落付き持合ひを唱へられつゝあるが雨霽後の市況果して如何の成行きを呈するが韓一銀行在庫品の調査未了分を除きたる當地在米高は別項の如くにて前月より玄米約一萬叺の減少を示し之に韓一銀行の分を加算するも到底六七千叺の減少は免かれ難くしかも當分輸送は不能の模樣なれば廻米一層減じ今後精米原料の吸收益々至難を感ずるに至らんかと杞憂せられつゝあり

● **麥粉引締まる** 一時七圓を突破せんかの勢ひなりし內地製粉界も買占めの張本人小倉、戒告により人氣急遽惡落し

二日の大阪市況は遂に五圓臺を打破りて現物四圓八十九錢を唱へらるゝに至り 人氣更に惡化の傾きを報せるも當地は屢報の如く近來內地粉は滿洲粉の低廉に區逐されて移入杜絕し此處殘部の持品も殆ど一掃されし折柄滿洲粉は向ひ側の態度頗る强硬なる上昨今輸送叶はず今後約定品の輸入期へ見當付かざる際に內地相場の惡落報も何等反響なきのみならず些昨氣配は却つて滿洲粉の產地高に引付けられ此處更に二十錢方氣配引締まり一頭の五圓三十錢近かくを唱へらるゝに至れり內地粉さしては綠ダイヤ格にて四圓七八十錢見當なり

● **綿布更に新値** 綿布界は印度需要旺盛さ米綿作柄大悲觀に伴ふ相場の亂高下により一般に思惑的人氣を挑發し三綾十四圓四十錢迄の新高値を出現し市場は殆ご熱狂的の勢を示したるに偶々印度政府の綿製品價格調節の計劃發表せられたるこ同地官邊方面に於ける著荷の澁滯の爲め同國市場の思惑熱ん幾分涼掃したる傾向あり從つて本邦市場又多少の影響を蒙り盛に仲買輕買行はれ一時氣勢稍分散弱なる呈したるも輸米**印度綿布管理は本邦輸出に何等の影響**なく旁々一方更に綿高を秘さして再び上向歩調に移り俄然強硬なるを失はず昨三日の大阪相場は三綾十四圓二十錢の入電に當地又人氣揚がり一躍五六圓方跳上り三エー票は三百七十四五圓迄取引行はれしが氣配は尚八十圓など唱へ出しつゝあり其他細布も十九圓と引締まれり

● **三品二十圓臺** 大阪三品は昨前場昂騰の餘勢と海外の强弱材料に同日後場は一段と氣勢高まり當限四百二十圓丁度先限十九圓と昂騰したるが仕手の關係四國の事情は尚此上一煽り煽んの模樣なり

● **正米持合ひ** 正米は前相の如き事情にて精米筋の原料買進みありて昨年後は可成り手合ひ出來たるが出來値は區々一定せず必需口より一俵內外の低位に

● **白米持合ひ** 市況は別項の如き成行きにて白米又大口注文に追はれつゝある際人氣强硬 市中卸値は原料の騰りさ雖現下の高さ騰いて不採算といふにあらず又何彼さ世評のうるさき今日なれば精米所側にても此際値段の點に附ては心を用ひ居れる模樣らく相場は持合ひつゝあり

● **京城在庫穀物** 八月末の京城在庫穀物現在高は左記の如くなるが其內韓一銀行在庫品は調査未了なる爲め之を除く

玄米 六六三四叺 一六四叺
白米 三九五叺 大豆 九〇三七叺
籾 二〇八二叺 小豆 三一八九叺
小豆 一二五二叺 大麥 一五〇三叺
其他の雜穀 三六、九二〇叺

之を前月と比較すれば**玄米約一萬叺の減少**に當り此上韓一銀行の分幾何あるや不明なるも同銀行の**在庫は左のみ多からず**といへり

● **鮮白も落付** 昨日は綿まり模樣なりし鮮白は朝來の雨天に商內餘り行はれず原料の强氣なから賣物の減少せし爲め相場は上三十五圓五十錢中三十五圓四十錢下三十四錢五十錢と持合ひ

● **製茶强し** 產地靜岡方面は目下三番茶が共候天候の適順なりし爲め收穫良好にして氣配も一番茶時に比し幾分買手勝ちなり香味共に好しからざる上相場は依然高模樣なり殊に裾物拂底の爲め外國向の比較すれば玉露薄茶四割煎茶二割內外の高値を唱へつゝあり

下關相場 ▲朝鮮米も氣配直し手五百叺白米一千八百叺等の餘入ありしが大低先約定物の送り届けにして賣物としての出廻り僅少なると元來在米も又品薄

各地商況

◎木浦米況（三日） 大阪市場は政府の買上值段不明なる爲め抑提し▲玄米（保合）の買出値段不明なる爲め警戒心强く品拂底なるに拘はらず買進み來らず從つて當地への引合入電更に無く當地は一方昨日迄は鮮人思惑的の買氣を催し居たる所本日は一方に賣手現れると共に引き込みて買はず閑散見送りの態度見に至るならんとの說ある等にて

◎大邱米況（三日） ▲玄米（五六十錢安）內地期米は大阪木曜寄付廿八圓廿四錢六節三十二錢下關寄廿七圓四十錢前止六十九錢と小强き入電當地正米は昨漸落の氣勢を承け各地鈍狀の入電に市況振はず五六十錢方の下唱へなるが安値は精米必需口買狙ひ居れるも荷主跡付離を嫌ひて容易に手放す向なく移出筋は輸送困難に手出し兼ねたる爲人氣頗る氣迷ひ月立ちたる手合なく相場としては前日三四十錢見當なり ▲籾 本日の溜廻著天候の爲め僅かに七八十俵の小口雨の前に八圓五十錢にて出來其餘は商內無し

▲朝鮮一等白米塊口 四十一圓 四十一圓五十錢 ▲同 當用 四十一圓五十錢 四十二圓 ▲同 ▲雌甚大豆 十六圓八十錢 二十圓 ▲元山大豆 十九圓五十錢 ▲水原大豆 十九圓五十錢 ▲命劾大豆 十九圓五十錢 ▲長端大豆 十九圓四五十錢

（京城）一等白米塊口の唱へなり十九圓乃至十九圓一二十錢見當

▲大豆は依然不況 其後新滿州產四百叺金劾產五百叺宜川物三百八十叺等の輸入ありしのみならず今尚は在荷相當にある折柄追々新物の出廻り氣勢へ且つ產地安旁自然買氣進まずしてからずの不捌けによりて殺て人氣不況を極め京義線物の如きは十九圓乃至十九圓一二十錢見當の唱へなり

▲小豆は弱保合 本品は依然川用口への成行きは左の通りなり四十一圓に手合せ行ばれ其他當市況氣重く一等白米百叺許りは賣らず賣れ行きの鈍清なる爲め然れども一向買氣進まずして相場は…かざるに依り別段人氣安からず…報を傳へざる旁各米主の賣り急ぐなるに加ばへ產地よりも別段異

▲大豆は弱保合 分當用口への賣れ行きに過ぎず塲に賣り急ぎ物あらずと雖も何廻りを見ずして產地さの比較上して市況面白からず用來値は左の通りなるも矢張賣の小口手合せのみ

仁川正米

島山白米五一叺 鳥山白米五一叺 全羅中白四九叺 一山白米二一叺 新搗白米四八叺 沙里院白四九叺 興水小麥七二叺 嶺美玄米三四叺 天々白米二七叺 長湍豆 三一叺 鳥致院粹四一叺 六川積豆三〇叺

▲籾の入津亦々あるも前週せし如き事情の爲め商賣捗々しからず見送り居れり
▲正米は本日より實行する收用價格の限定に如何なる成行を呈するやも難計場合にて見送り狀態を持續し相場も保合を唱へ居るが商賣捗々しからず

園 仲買店
仁川米豆取引所仲買人
電話二八、長二八三番 電略「シ」又ハ「カクシ」

生魚市場
京城日丸市場 仁川元山物の外少數の統營物さ群山鯛の廻著あり荷物は多き方にあらざりし鯛及鮑の下落を初めとし一般軟調なり
▲仁川たい四〇▲群山たい三四▲さはら二六▲すゝき一六▲ひらす▲めじろ一七▲はも一六▲さば八▲あぢ一二▲くろもひび一六〇▲にべ一二▲さごし二四あはび三八▲あゆ三〇▲赤ゐ七

仁川期米

▲**四日前場（小堅し）**

▲第一節 各地前寄未著にて當地當中新規買停止中先二十三圓九十錢と**九錢安**に寄付八錢と押目は買物多く四圓〇きたるも押目は買物多く四圓〇三錢さ上仲して引
▲第二節 大阪前場一節二十七圓十七錢さ**昨止より三錢安**
二節三十錢三節三十八錢東京四十錢兵庫七十一錢の入電にて先四圓〇八錢より買物多く十八錢付せしが高值は又賣物現はれ六錢引
▲第三節 先十六錢より八錢さ跳れたるも戻りて又賣物多く五錢さ押し六錢引
▲第四節 先十五錢より三錢引
▲第五節 先十四錢より五錢さ

依然保合の裡に小堅き成行を示して散會

仲買店
仁川米豆取引所仲買人
電話一五八番長一五九番 電話 七二〇番 岩谷川

▲四日前場 ⊖二十三圓九十八錢 二十四圓〆一錢二十四圓二十三 一圓九十九錢二十四圓二十四圓〆 一錢二十四圓二十四圓〆一錢二 十四圓二十四圓〆一錢⊖〆八錢 十錢一錢二錢三錢四錢五錢六錢 七錢八錢七錢八錢七錢八錢六錢 ⊖十六錢五錢七錢六錢七錢 六錢七錢六錢五錢六錢⊖十五錢 四錢三錢四錢三錢四錢⊖十四錢 十錢

市場雜觀

▲前後場は大阪前止二十七圓三十九錢東京二十六圓六十八錢後寄未著にて當地先二十四圓十二錢と寄付きしが高値は又賣物多く五錢と上伸し保合の裡に三節を送つたが四節に至り大阪六十三東京六十八錢兵庫七十五錢の入電に〇七錢と押し散會したけれど大阪の成行は今後場六節より十節迄三十九錢の保げ付きを報じる等同樣氣乘り薄にて市場の閑散を思はしむる者あり今や時期は大天災期にて二百十日の厄日を無事經過したるも今後尙二百二十日もあり彼岸さへあれば

控へ居るの場合にて米界に於ける尤も重要の時なるに大厄日を控へ居る模樣ですれば買物多くさも連中あり思惑的買物は到底持續せる者なりしめ乘り薄さか保合をならず▲併し本年は例年と趣を異にし高値にも政府の米價抑壓問題ありて正米は一面には相常の不足を押し切つて賣出しうるの途ならず人氣は相場價格問題の解決迄ひを生じ居るに外ならず

仁川米豆取引所

四日の十一月限

	前場	
寄付	二十三円九十八錢	
止メ	二十四円十五錢	
高値	二十四円十八錢	
安値	二十三円九十八錢	
出來高	六千五百石	

平均値段	
一節	二十四円〆一錢
二節	二十四円〆四錢
三節	二十四円〆六錢
四節	二十四円十四錢
五節	二十四円十四錢

北濱たより（二日末月）

▲**戻すのが順** 上に切れ來るならんつゝある場合是等の豫測せられる際せらるゝならんと豫測せられ行せられ又賣出し値段は近日發件し收用令の成行は本日より實場合なる丈市場は相場の印刷せる以て値段は見るならば思はれたのであるが大株や大新は別として其他の指定株はいづれも一割以上といふ好利廻りになつてゐる値頃にあるのだから月が變つて氣も幾分かかわり流れに軟派も追擊の手をゆるめた反面に手頭株の買物もチラホラながら現はれたので二十圓方から四五圓切の引返しを告げたのである月末の低落は不安材料の續出に因るとは云へ非の材料は多く見こしに屬するもので材料その物よりは寧ろ人氣に出つて居たので

▲分壯が多いのであるから人氣の直るに伴れ相場の戻るのは當然である殊に諸株が値頃の點から云つて底値以下の値頃に買叩かれたのであるから本日の引返しは當然の順序であると共に限先は尙は引續いて戻すであらうと思ばれるのであるがマバラ手筋は大牛月末の崩れに氣が付きずして投げた▲是手筋は相當に元來の所にもあつたとは云へ勢方筋などの投退れに手筋は相當の戻るに伴れてヤレ〳〵的の迷ずも現はれるべく且つ軟派も味な占めて戻り値には何れは賣浴せを試むるであらうから此處に一寸もみ合ふ事はあらうと思はれるのである

仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 (イ) 今村覺次郎 電話 三三八番 長三六八番

◇食衣住 歐米の生活觀

久しく歐米に在つて彼の國民の生活狀態を視察して最近歸朝した某氏は語る「日本に衣食住と云ふ言葉があるが實際は住を先にして夫から衣食し、又は食衣するやうである、然れば少し金が入ると直

◇**住居を**新築する四五十圓の俸給生活者でも收入の大部分を住ひのため使用するのが日本人の癖である、下宿屋や貸間住居は勿論のこと借家生活をさへ耻と思つてる人が可なり澤山にある、其處へゆくと歐米人は丸で日本人と反對で住ひより先づ食、夫から衣と云つた風で貸間住居を

◇**平氣で**やつてる、年收十萬圓からある人が貸二階、平氣で陣取つて而して盛んに自動車を飛ばしてる、尤も同じ貸間と云つても日本の夫れとは異つて一人で五ッ間も十間も借るので其の建築振りは丸で一家をなしたやうになつてる自然アーペントメントとかマレーシヨンとか上下に分かれて居るのは麴町、三年町の『佐藤別邸』下谷花園町の『上野俱樂部』などは之れを眞似た貧弱なもので、丸の內の海上ビルデングも夫れで單に

◇**事務所**として差がある許りだ、日本も年々物價が貴くなつて來るとすればどうしても此の貸間住居を覺悟せねばならぬ、既記のマレーシヨンに年收數萬圓の實業家夫婦が構へてゐるのさへある、和服の外に洋服、下駄の外に靴と云つた風な二重生活をしてゐる日

本人は少くとも月給生活をしてる人は之から盛んに貸間で我慢せねばならぬやうになるだらう、夫れを此の上もない耻であるかのやうに思つてる時代には後から後から生活難の襲つて來る時代にあることを信じます（木村女史談）

◎鹽の味 ◇味附に鹽を使へば ◇材料は十分一ですむ

▲醬油に代へ‼安價生活の研究

日本料理に必須な材料は昆布或は鰹節の煮出汁に砂糖こ醬油でせうこれを一家で一年間に見積つたら決して僅少な額では濟まないでせう、しかも作り上げた料理の味は料理法の拙な爲に其品物特有の味を失ひ何を食ても似寄つた附味になつてゐます、若しこの鰹節砂糖醬油の代りに鹽を用ゐて洋食風に作り上げますならば味附材料は恰度十分の一で出來上がります

▲鹽味などは不味だらうと思ふかも知れませんが京都の瓢亭山料理（禪宗の料理）などは種々な野菜を取混ぜて其味を助け合した結構なものです、之れは洋食にも用ゐる方法ですが、まづ甘味が欲しいと思へば砂糖の代りに甘味を含む野菜の蕪、玉葱、きやべつ、かぶ、にんじん等を加へて煮ますならば夫れ等の野菜から自然の甘味が出て來てよい味になります、殊に馬鈴薯などは醬油で煮ますこ醬油を吸收し

て非常に多量の醬油こ砂糖こを要しますが鹽で味をつけますこ、少量の砂糖であつさりした味のものが出來上ります、夫れから

▲料理の材料なども少し工夫して使ふと大切です、假りに夫婦こ子供二人の家族の所へ鹽鮭の切身が二つあるとします此處場合大粒の馬鈴薯を三つ四つ買つて茹で、潰し、鮭を鹽出しして肉をほろほろな粉こし馬鈴薯に混ぜ鹽こ胡椒で味加減をし、細長く丸めて平たく潰しメリケン粉をまぶして胡麻の油かラードで狐色に揚げますこたつぷり四人前のものが出來、鮭も生きて使はれます、又生魚ならばすり身にすると僅の材料で多人數を滿足させる事が出來ます、また生よりも

▲鹽物は安い上にその場合にはその鹽を利用して味をつけると味附材料も經濟に上りますから、萬事を此心掛ですれば其處からも必ず餘裕が生ずるだらうと信じます（女史談）

◎お弟子の奪合ひ

花柳社會でも醫者仲間…皆樣に御尋ね申上候 京城にて こり子

◇いづれの花柳社會でも醫者仲間の嫉視反目の輭轢は珍らしくも無之候へ共、京城ほど五月蠅い所は無之候。妾は元來藝事が大好きにて片時も三味を手放したる事無之、又踊りも下手ながらにも熱心に稽古致居り一日踊らねば御飯も旨しく戰だけ不申、お座敷に出ても何となく不愉快を覺申候。

◇今度三券番の姉妹達が相談して東京より楊柳吉菊師匠をお聘寄せ下され妾々の爲にお稽古をして下さる事こ相成候に就ては元より好きな途こて、今日此頃の暑さも何のものかは、汗水たらして一心不亂にお稽古致し居候、然る處如何云ふ譯かは存じ不申候ら共今般又復踊りの師匠花柳芳之助樣が長唄杵屋勝助、下方六郷新十郎の兩先生を御連れなされ去る二十八日京城に御著相成之由近々お稽古をお始めなさる事こ相成候由にて、之にも是非弟子入りせよこ或る姉さんよりお勸めを受け申候、幾ら好きな道こて一時に雙方のお稽古を致す事は第一身體も續かず、一方のお師匠樣にも義理が立たず、然ればこて折角姉さんのお勸誘を素氣なくお斷りも出來ず、即ち一方立てれば他方が立たず、如何して

よいやら誠にく途方に暮申候、いつそ雙方こも御斷りして踊り止め立こやらを守らんかこも思案致居候。

◇いづれ一方の御連中に長唄、踊り、下方のお師匠樣が御揃ひ相成候上からは他の御連中も左ぞ下方のお師匠樣をお聘び寄せ相成候事は請合にて、さすれば此の狹い京城に長唄、踊、下方の先生が二人づゝ、ある事こ相成り自然競爭こもなり暗鬪こもなり揚句の果ては又復擦つた揉んだの大騷動が始まり可申今より怖氣が先に立つてチンデお稽古する氣に相成り不申候、僅百五六十人の藝者に同じ流を汲むお師匠樣が二人づゝも要らぬ筈、寧ろ濟元さか、常盤津こかのお師匠樣を御聘び寄せ下され候へば幾ら藝術こやらの發達に相成り可申。

◇妾は筆不調法のまゝ、代書先生樣に御願ひ致し本狀代筆を御願申候何卒日頃の御贔屓に甘へ御意見御伺ひまで（以上）

◎新人物養成 東京なる高千穗學校は時局の推移に鑑み左記新人物養成の方針を右に刷し其校庭に建設したる由

左の朝鮮園の花を眺めつゝ秋の夕べ若笑の星を仰ぎつゝ自然の美を友とし道智眞德な俯き新青黒想の調和な調ひ天地人融合の眞理な味ひて之れ記人生幸福の綱目み忘れざるは極めて大切なることとなり
（一）健康の快樂（二）自然に對する愛好
（三）家庭の團欒（四）趣味の趣味
（五）生產的勤勞（六）公共的事業に對する同情（七）崇高の氣高き精神

皮膚科 外科 專門

京城太平通二丁目 **扇田醫院** 電話二二五八番

九月六日 九星 舊八月二日 丙辰

▲五黃 仲つけ宜し萬事見合すべし 本命五黃八方先負
方は吉凶なし▲六白 適合の日縱居旅行入等悉ろし
▲七赤 家の日縱居出、遺入、勢化旅行
▲一白 藝事に吉祥 新事宜し…
▲八白 ……
▲九紫 大事成就の日
▲二黑 ……
▲三碧 無趣味の事有日新事……
▲四綠 ……

◎婦人風俗畫報 ……九月號は流行の秋季特別號として「婦人畫報」……

◎双眼鏡◎

◎十五形六枚玉十三圓
◎十三形六枚玉十一圓

送料鮮內十一錢 外三十錢
右御注文付至急御下命願上候
京城太平通電話構內一八番
京城日報社代理部

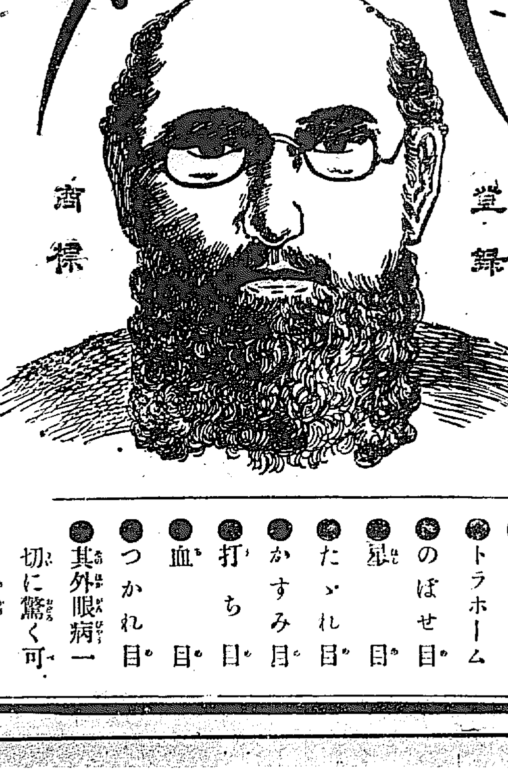
京永樂町三丁目 御たまや出張店 京 涂 吳 服 電話一二九六

副業の……小資本で出來る
吳服屋
▲現在の收入に不滿足な人
▲より以上に副業で儲けたい人
▲奧樣にも…老人にも
▲獨立したい青年諸君にも全國
▲各府縣一町村に壹名宛東京
規定は總物直接特約店を募集す
　新聞名記入郵券二錢送
東京九段 久保濱地方御部

御召工合良き靴

東京芝區櫻田伏見町角 內田靴鞄店 電話芝二二一

山縣五十雄 村上唯吉 共著
富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢
京城太平通 振替京城三〇 京日代理部



サスガは大學目藥見事に治る

效能
●はやり目。
●トラホーム
●のぼせ目。
●星目。
●たゞれ目。
●かすみ目。
●打ち目。
●血目。
●つかれ目。
●其外眼病一切に驚く可き奇效あり

大阪 合資會社 參天堂藥房發行

○いろは屆に出ます剪つたてめて下さい○

いろは金言カード

て 滿一滴遂に桶を滿たす（英國俚諺）
あ 愛に過ぐるは眞の愛にあらず（西諺）

胃腸新藥
藥效 工場
タカヂアスターゼ

高峰博士發見の本品は本邦人に最多數を占むる澱粉不消化に因する胃腸障害に必要缺くべからざる新藥として多數の醫學者臨床家に依り確認賞用せられつゝあり。

本劑は從來米國にて製造したるものを輸入せしも前年より本會社品川工場にて製造し純國產品となれり。類似模造品は時日經過と共に效力減卻するを普通とす、我タカヂアスターゼは效力永久不變なり。

內外醫學者の實驗報告書無代贈呈す

東京室町
三共株式會社

■賣れるは、賣れるは飛ぶ樣に■
八島柳堂著 古賀雄祐書
教訓 お伽噺
■面白い……面白いお噺、悲しい……悲しいお噺。そうしてお爲になるのが此本の特長です……

美本 總入 一百七十頁
定價 卅五錢

▼取次販賣所
▲大阪屋號
▲巖松堂
▲日韓書房

發行所 京城日報代理部
京城太平通（振替三〇〇）

汽車時間表

京釜線（南行）（北行） 南大門發 京城 ……
京義線（北行）（南行） ……
京仁線 ……
京元線（北行）（南行） ……
支線 ……

[illegible]

京城日報

發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介　發行所 京城太平通一丁目 合資會社京城日報社

京城日報　正副總統改選

支那共和國の約法に據れば、大總統の任期を六年と爲し、滿期の前三個月、兩院聯合の選擧會を組織し、繼任總統を選擧するの制と爲す。現總統馮國璋氏の任期は、來る十月十日を以て滿期に達するが故に、昨日を以て繼任者の選擧は行はれたる筈なり。而して其の候補者と目指されたるは、徐世昌氏にして、是にて兩院共に格別の反對者なかりし模樣なれば、無論大多數を以て當選したること疑ひなし。前回の例を以てせば、引續き今五日を以て副總統の選擧を行ふべき筈なるも、其の候補者に就ては、各派とも未だ確定せる候補者を發表せざるは、さすがに支那式たるを失はず。一支那紙の評にいふ『最近安福派幹部の口頭禪、常に段芝泉（祺瑞）を推稱して、而して中偃曹仲珊（錕）に在るは頗る明瞭たり。但し期限切迫の今日に至りても、尚未だ其の候補者の姓名を發表せざるは是何故ぞや。且獨り安福一派のみならず、交通系、討論會、進歩系も亦均しく相同じ。世界何れの地の共和國たるに論なく、元首を選擧するの時に當り、必ず先づ一黨推薦の候補者の姓名を發表し、全國人民をして大體を周知せしむ。而して我國は則ち絶えて此事なし。蓋し現在の形勢に據れば、安福派のみ僅に其の一端を窺知するを得るのみ。其餘各派の主張に至りては、全然混沌模糊、殆んど一も捉摸すべきものなし』云々と。各派の中、或は南北協合のため、陸榮廷、唐繼堯兩氏の一を副總統に擧げんと唱ふるものあり。或は現總理段祺瑞氏を推さんとするものある模樣なるも、結局は安福倶樂部の推選せる曹氏に落著すべきは、察するに難からざるなり。

徐世昌氏は清朝の遺老にして、北方人の間に德望あるのみならず、其文治派に屬するの故を以て、南方人士の間にも反感を抱くもの少きを以て、刻下の時局を調協するに於て、蓋し好個の大總統たるを失はず。唯其の文官出身にして、兵力の後勁を有せざるは、支那の元首としての最弱點にして、各省督軍が果して其の命令に服從せしめ、以て時艱を濟ふに足るや否やを疑問とするのみ。曹錕氏に至りては、現に討南軍の司令官たりと雖ども、湖北の王占元等と共に、南北和協を主張しつゝある人なるを以て、徐氏の政策と衝突するが如きことなく、南方に對しても、さして受けの惡かるべき筈なきも、副總統としての聲望未だ十分ならず。且つ段祺瑞氏に對する從來の關係上數歩を讓るの境遇を免れざれば、之がために北京政府に重きを加ふるの點を見る難かるべし。但し曹氏は直隷省內に兵力を有するを以て、丸腰の徐氏を助くるに多少好都合なるはいふまでもなし。

徐氏の大總統に選擧せらるるにつき、一支那紙は揣摩すらく『帝制派の人は徐世昌に對して極めて歡迎を爲す、彼等竊以らく、徐若し台歷に登るとき、亦必ず久しからずして、此の國事の紛糾に値はん、徐は將に其苦に堪へずして位を宣統に讓らんと、蓋し滿人は張作霖の復辟に對しては、其の危險にして成り難きを以ての故に、力めて之に反對し、而して頗る徐氏が復辟の先驅たるを希望す』と。此の如きは一種の流說にして、又徐氏を中傷するものに似たりと雖も、徐氏の閲歷と其思想の歸結する所を知るものは、誰しも一應かゝる疑念を抱くは寧ろ當然にして、現に本邦支那通の間に在りても、早晩清朝復辟の時機あるべきを信ずるもの少からず。然れども徐氏の就職を以て、直ちに滿清復辟の先容と爲すが如きは、早計の甚だしきものにして、徐氏如何に老せりとも、張勳殺落の二の舞を演ぜざるは勿論なり。畢竟徐氏が負荷する所の天職は、南方の反感を解き、一家內の喧嘩を取鎭むるに在り。幸ひに南方の政務總裁首席たる岑春煊氏も亦徐氏と略出處を共にせるの人なるを以て、相互の間に多少の諒解あるを疑はず。若し北方帝制派にして濫りに清朝復辟を夢想し、以て徐氏の就職を歡迎すとせば、是れ所謂贔屓の引倒しに過ぎざるのみ。

副總統の選擧と共に最も人の注目を惹くものは、段總理の出處なるが、段氏は既に各省に通電して其の引退を明かにしたるが、其の聲明に依れば、飽まで討南の政策を保持するもの、如し。曰く『祺瑞要員方なく、未だ早く國難を紓ぶる能はず、上は大總統知人の哲に負けり、今幸ひにして國會成るを告け、已に大總統選擧聯合會を組織するを議決す、實に我國第一次の改選大典と爲す、元首改任の時は即ち政局更新の會なり、祺瑞自ら應に時に及びて引退し、我初服を遂ぐべし、慮る所避嫌の際、新內閣尚は未だ成立せず、人心浮動、諸變生じ易く、凡そ我在位具に責成あり、而して各省軍民長官の責任尤も重し、所在前敵各軍隊希くは即ち戰備を修明し、殿に煽惑を杜ぎ、京師及び各省地方尤も應に人心を鎭攝し、秩序を維持すべし、倘し蹉跌あり、危き國本に及ばゞ、即ち前敵諸將領と地方の責に任ずるもの、國家人民に對して辭すべからざるの咎あり』云々と。言辭謙遜なるものありと雖も、其の敵前諸將と地方長官を戒飭する所以のものは、其志の在る所知るべし。段氏にして大總統更迭に際し、一旦野に降ることありとするも、其の多年養成する所の大勢力は、猶能く新政府を牽制するに足るべし。況んや今日の際、段氏の一派を除き、新に內閣を組織するが如きは全然不可能なるに於てをや。徐氏の新政府にして、果して南北妥協を策せんとせば、從來段內閣の執り來れる方針を根柢より變更せざるを得ざるべし。是段氏の甘受する所なるべきや否や。思へば支那政界の前途は多難多艱を免れず、徐氏の老軀、克く之に耐へ得るや否や。支那紙ならざるも、亦之を疑はざる能はず。今回の總統改選が、新なる爭ひの種を播くなくんば幸ひなり。

特殊部落民善導に就て（二）

帝國公道會長 伯爵 大木遠吉氏談

凡そ此の民族の特徴といふべきものは、人の話を決して善意に解さない、必ず如何なることでも之を惡意に解釋することである。然も性質陰險にして普通民とは大に其の性質を異にしてゐる。そして無精であつてトラホームが流行してゐる。實に一種の異民族といふべきことは、何人の眼にも映ずることであらう。然し乍ら同民族が斯の如くなりし其の淵源は抑も何であるか、案ずるに史上に天武天皇の御代佛法の盛んなりし時、六畜を食む者は、乃ち日本の清淨潔癖の天質に背くもの故、是れを國籍の外に置く。といふことになりしより始まつてゐる。此の日本國民ならずといふことは、實に理由なき事で、何人もこれに疑ひを挾むものは無い筈である。明治天皇が四民平等といふことを宣布し給うたのは之等士農工商を同權に成し給ひし惠澤に彼等特殊民族を浴せしめやうといふ、所謂千二百年來の古に、即ち故鄕に還らしめやうと成し給うたのであつた。又特殊民族の中には氏素性の立派なものがある。一例を擧ぐれば、昔近侍の人が天皇の喪に際し追慕の餘り世を棄て御陵の傍ら庵を結んで御陵のお守を自ら進んでして居つたやうな位階のありし人等も、卑しき者なりとて、特殊民族と同類に見做すに至つたものもある。其の他源平の戰ひに於て、東國征伐の時に於て、叛亂人とされたものに至つたものは、種々あるが、要するに我々同胞と何等異る所は無い、彼等とても同胞の民である。或は人情の上からは民族の異る者をば壓迫するといふこともあることはあらうが、日本に於ることの特殊民族といふものを壓迫する等のことは、絶對に理由の無いことである。然るに現代に於ても尚ほ之等を特別扱ひにしてゐる。即ち彼等は昔より田地を耕作するといふことが充分出來ない。部落を作つて六畜を食とするに至りし原因はこゝにある。而して今日に於ても彼等は教育を受くるに、小學校時代は未だよいが、中學校に入ると、もう差別と壓迫と迫害とを加へらるゝやうになる。陸軍等に於てもその待遇に於て甚だしいものがある。斯くの如く彼等は普通民の知らざる苦心苦痛といふものを嘗めなければならない、今日社會學者としての建部氏等が一尊を輙するが如き頑冥が同種族の中に在るが、而も社會は久しき因襲より來る右如き種々の點より此人を教授とすることが出來ないで依然として講師たるの外はないといふ有様である。又或軍艦內に水兵が居つたがこれも漸次その素性が知れて來て同僚に於ては、當付がましく言ふ所の一つの流行語が出來た。其は此の船は乾度敗戰になる。何となれば艦內が汚れてゐるからであると斯ういふ言葉が常に同僚の口に上る。哀れむべき水兵は、罪も科も無いのに、遂に此軍艦を去らなければならない運命に遭遇したといふことである。其の他數へ來れば此種の例は澤山ある。同種族民の不平漸々となり、以て社會に對して强烈なる反感を懷くに至るも故あるかなである。

哈爾賓畫觀（九）

‖路傍の人‖　鶴田吾郎

純然たる乞食とまで行かず、さりとて勞働をするにしては、よき職もないといつた連中がよく路傍に屯ろける、それが堂々たる男子である。生活難は尤も多く中流以下に迫つて下級勞働は支那人に奪はれ、仕方もなしに物乞ふも未だ馴れず人が與へれば受取つてもやらうといふ様な顔をしてゐる。

極東過軍衰ふ　黑龍州に據る

亞露極東三州の過激派軍は聯合軍の出兵殊に日本軍の既に沿海州方面に活動を開始せるの報に接し又北滿國境方面は常にセミヨノフ軍の侵入し來るのみならず滿洲里附近に駐屯せる日本軍も既に國境內に進入して東清沿線の重要地點に若干部隊を配置しセ軍後方の警備を開始せるより各方面共に士氣頓に沮喪し新募集に應ずる兵員の激減せるのみならず軍隊中より逃亡者續出し幹部は軍紀の振粛に努めつゝあるも到底軍容を整備し難き有様なり從つてセミヨノフ軍方面の戰況も又ウエルフネウヂンスク方面に於いてイルクック方向へ東進し來れるチエック軍に對する方面も沿海州の日本軍セ軍及び沿海州聯合軍に對し巧妙なる應戰を續けつゝありしが日本軍の氣勢大に昂りしより將來持久的抵抗を續くるに便ならしむる爲め黑龍州內に一圍となり連絡を一層鞏固にして頑强なる抵抗を爲さんと決心せるものゝ如く即ち沿海州方面の敵軍が戰を交へずして遠くハバロスクに引上げ又黑龍江方面に在りし獨墺俘虜を全部ハバロフスク以西に集合せしめ尚ほ後貝加爾方面に在りし守備軍を漸次東方に退却せしめつゝあるは著々其作戰に移りつゝあるを證するものと云ふべし元來敵軍に取りては當初より後貝加爾州地方に其兵力を集結し長驅し來るチエ軍及びセ軍に當るを最も有利なる方策と爲せしなりも然るにチタ以東に多く又連絡を斷たれて軍需品及び造兵工場等が主としたる軍隊として自給策に必要なる農產物の補給が後貝加爾州より黑龍州を便利とせる結果悉く退却しセ軍の前面東清鐵道沿線中ボルヂャ、オロンガ附近には全く敵影なく又たウエルフネウヂンスクに過激派軍を擊破せる東進チエ軍は同地の東方約三十五里のペトロフスキーザウオードを通過し更に其東方約七里附近まで前進せりと云ひ尙確報に非ざるもチタ市には反過激派運動勃發し東進チエ軍の一先進部隊は既にチタ市に進入せりとの報道もあり大體に於て後貝加爾州內の形勢は過激派軍に取り頗る不利となれるを以て同軍は最近堂々たる戰闘を避け奇襲的戰法を以て能ふ限りセ軍及びチエ軍を惱まさんとする方策を取れるが如く二十九日國境を越えて侵入し來たりし藤井支隊の後方聯絡線を脅威せる敵の騎兵一部隊の如きは其一例にして恐らく今後各方面に出沒し後貝加爾州に前進せる我友軍の行動に取り大なる障碍たるべしと信ぜらる

並行線（七十一）

瀧閑村

お村は食事の時間を惜しんで灸を据た。灸の痛みと惡寒とは此堪へない灸點は中々の努力だつた。併し一日經ち、二日經つと、其苦痛が少しづゝ薄らいで來た。其の灸では間に合はなかつた、艾を買つて來て、摑んでは据ゑた。艾の匂ひは家內に醸つた。

苦痛が減ずると共に巫女の事が切りに頭に上つた。どうか是に依つて災厄の源を知つて是を根絶したいと望む傍から、自分の秘密を發かれることを怖れた。見て貰ふか、貰ふまいかと迷つてゐる間に灸は段々大きくなつて、化膿して、遂に口が開いた。

『まア宜かつた。』

と安心すると共に、灸と云ふやうな、今の科學で說明の出來ない事を排しつゝある事に、信仰を深くするやうになつて來た。小學教育位より受けてゐないお村には、斯うした素質は此以前より心の何處かに根を張つてゐたには違ひ無いが、是れが灸の効能に依つて勃然と頭を擡げて來た。

數日來家に居て、勝手から子供の世話迄して貰つた光一は、お村が快くなつたのを見ると、直ぐ外へ出やうとするのを、一日待つて貰つて、お村は朝飯を終ると鍼灸師に禮に行つて來ると稱して家を出た。

床に在つたのは僅數日に過ぎないけれど、も外へ出ると輕い眩暈を感ずる程日が光つて見えた。それ程疲勞してゐたのである、二三度休んで、十町程ある輕便鐵道の停留場へ行つた。

玩具のやうな輕便鐵道はやがて激しく震動し乍ら發車した。お村は巫女がどんな顔をしてゐるか、どんな風に神託を傳へるか——怖ろしさに、珍らしさを交へた心持で、其顔を窓の硝子へ描いたりしてゐた。

小さな停留場を三つ越して、四つ目にお村は列車を棄てた。

そこは舊東海道に沿うた農村で殆んど文明に置いて行かれたやうな形の、富裕で無い部落だつた。停留場の傍に鎭守の杜があつた。鐵道の切符を賣る茶店へ入つた。茶店と云つたつて、小さな蜜柑や駄菓子を並べてあるに過ぎなかつた。汚れた數羽の鷄が餌を漁り乍ら、其菓子箱の上を歩行いたりした。

お村は欲しくも無い蜜柑を買つてから

『あの、此處に大變上手な巫女さんがあるつて話ですが、家は何處でせう。』と少し憚るやうに內儀に訊いた。

內儀はシイ〱と鷄を追ひ乍ら

『巫女かね、そりや上手でやすともね、家は……』と身を反らして線路の向ふの杜を指し、『此輕便の線路を眞直に行つて、一町ばかり行つたら左へ入るですよ、あの杜の下だから。』

『さうですか、今日は家に居るでせうか。』

『居やしやうとも。今朝俺ら前を通つたから。』

『どうも有難う。』

お村は敎へられた通り線路傍ひに行つた。列車が後から來てお村を追越して進んだ。窓から顔を出してゐる人の眼は皆自分に集まつてゐる如く思はれて傍を向いた。曲り角へ來て杜の高い樹が梢である事が判ると、お村は足が進まなくなつた。罪を斷する處へでも送られるやうに。

下關期米特電

四日後場　大阪前場六節二十七圓六十錢　東京二十六圓六十錢　兵庫二十六圓七十錢の入電にて當地は先二十四圓十錢　六錢七錢

サクラビールの光榮

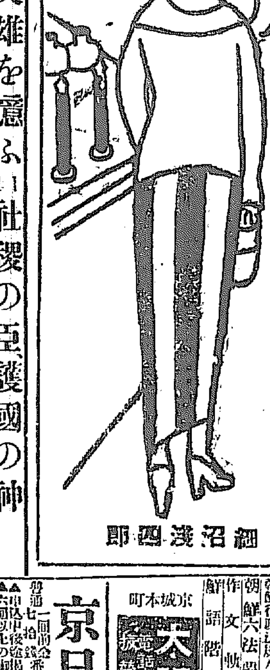
軍人とサクラビール

武士道の精華たる櫻は實に芳味最も掬す可き我サクラビールなり櫻が花の王たる如くサクラビールは亦ビールの王たり而して大和心を代表する軍人の精華は我サクラビールに依りて現る……

今般派遣軍御用品として忠勇の軍人と共に西伯利の野に活躍して居るは我サクラビールあるのみです

■九月二日大阪朝日新聞揭載（浦鹽中平特派員發電）

二十四日夜クラエウスキ驛附近戰闘裝甲列車捕獲の際出發に當り大隊長は一小隊一本の割にて別れの祝盃として配布されたのは我サクラビールであります



SSS

進歩せる文具店なら！

何處の飾窓にも

サンエス萬年筆

實業界にも學事にも軍事に携はる人も人達のパックにも洽く行渡る模範品

價壹圓五拾錢以上拾五圓まで

全國到る處の文具店にあり

本舖　東京京橋區喰町　細沼淺四郎

時艱英雄を憶ふ‖社稷の臣、護國の神

執筆家　寺內首相…後藤外相…大島陸相…仲小路農相…山縣相…水野內相…福島大將…安東大將…田中參謀次長…堀內中將…石黒男…宇佐川男…澁谷男…平田子…末松子…金子子…一戶大將…秋山大將…松岡男…安廣男…阪谷男…山川陸軍次官…石塚東拓總裁…大岡議長

軍人政治家殖拓の開山

兒玉藤園將軍

滿鐵理事…新渡戶、矢作、岡松の三法博士…高木爵博士…早川鐵冶…福本日南…下坂東洋社長…槇鼎水社長…武智台糖取締…有島明糖專務…兒玉花外…鎌田榮吉…朝比奈知泉…長瀨鳳輔…北野元峰…元田、中橋、棚瀨、中村、小林、山根の六代議士…三宅雪嶺

軍國教育の最高資料‖滿天下に一讀を勸む

菊版クロース上製三百七十頁口繪寫眞版十三葉　定價一圓　郵税十四錢　記念出版

拓殖新報社　東京芝區琴平町

使用中故障の惡なく飽迄耐久にして結局最も安價となる點に於て

ダンロップ自轉車タイヤー

は正しく凡ての需用者の理想と一致す

到る處の自轉車店にあり

ダンロップ自動車タイヤーは各自動車店にあり

朝鮮總督府遞信局　購買入札　一、石炭壹百參拾噸　詳細九月五日ノ本府官報ニ在リ

公告　京城府　一、京城府自南大門至西大門道路局部改修工事　右九月七日午前十一時入札ニ附ス　希望者ハ當府門前ノ揭示ヲ見ヨ

最新刊　一週間速進法　朝鮮農業寶鑑　朝鮮語の先生　小說　支那語　菊花培養秘訣　朝鮮六法要論　作文軌範　朝鮮語階梯

京日案內　京城本町　大阪屋號

店員入用　女子募集　總督府印刷所　給仕採用　高給外務員招聘　電話至急買受度し　朝鮮語科　英語科　店員募集　某醫院

烏蘇里方面戰報

△騎兵先頭ロ驛着 師團主力漸次北進

我騎兵の先頭部隊は二日ローゼンガルトフカ（ビギンの北二驛目）に到達せり同地とビギン間の鐵道は捕獲機關車を利用し運行を開始せり師團の主力は鐵道の修理に全力を注ぎ又行軍によりて漸次北進しつゝあり

△ハ市敵根據地 クラスヤリチキに防備線築設

ハバロフスクは目下沿海州に於ける敵の根據地となり極東勞農政府の本部を置き前線より退却の兵とアムール（黑龍江）の軍隊を集めクラスヤリキチ（ハバロフスクの前驛＝ローゼンガルトフカより北方八驛目の地）に堅固なる防備線を築設せり

△敵防備と武裝 獨逸海軍々人の指揮により

黑龍江防備に關し敵は獨逸海軍々人の指揮により相當の武裝をなし居れり

△邦人避難者著浦

ニコラエウスクの邦人避難者は五日浦鹽到着の豫定なり（以上四項四日午前五時浦鹽發金谷從軍記者特電）

◇東清鐵道員罷業 浦哈間並に以北運轉中止

東清鐵道從業員は二日夜十時より同盟罷業を爲したるが長春より哈爾賓に向ふ列車は三日夜迄は無理に運轉せしも哈爾賓よりは列車來らず又浦鹽哈爾賓間及び其以北は全く運轉中止せるもの、如し右罷業の原因は賃金値上にありとの事なるも目下調査中なり（長春特電）

◇副總統選擧延期

副總統選擧は一時延期する事に決せりと傳へらる（北京特電）

◇陳軍延平占領

陳炯明軍は福建省延平を占領せりと（北京特電）

◇米小麥價格公定

米國大統領ウイルソン氏は本年度小麥の價格を昨年同様二弗二十仙と公定せり（華盛頓電報）

◇米希人服役調印

米國々務卿ランシング氏及び駐米希臘公使は在米希臘人を米軍に又在希米人を希臘軍の軍務に服さしめんとする條約に調印せり（華盛頓電報）

◇徳川議長渡支 朝鮮經由

徳川貴族院議長は十日頃東京出發朝鮮經由渡支すべしと（東京特電）

◇牧野男歸京

牧野男は四日午前伊香保より歸京せり（東京特電）

◇原總裁歸京

原政友會總裁は四日午前六時盛岡より歸京せり（東京特電）

◇大阪驛荷物止

時局柄大阪驛にては當分滿鮮行き荷物の引受を停止する旨各汽船會社並に廻漕業者に通告せり（大阪特電）

◇大小麥粉下落

大阪市場の小麥粉は小倉戒告後三日現物五圓臺を割り四圓八九十錢を唱へり（大阪特電）

◇群山米好評

三日群山より大阪杉野商店に本年の三等新玄米の見本到着せるが品質乾燥共に良好なり（大阪特電）

大阪より

[illegible]

◎鮮人勞働者と內地の事業

近年內地產業界殷盛の結果各種の事業を通じ一般に職工人夫の不足を感じ鮮人の勞働者を內地に誘致せんとするもの益々多きを加ふるに至れるは頗る喜ぶべき現象なるが而も鮮人勞働者の內地就業成績は概して良好にして二三の例外を除けば何れも雇主側の滿足ありり今大正六年度より七年上期に亘り內地事業家が鮮人勞働者を募集したる數及び之が募集に應じて內地に渡航せる鮮人勞働者の數並に彼等鮮人が內地に於ける勞働種別を基礎として其の概要を記せば大要左の如し

▲鮮人需要と事業 內[illegible]方[illegible]る者の中主なる團體若くは個人を列擧すれば中國製鐵株式會社、居津吉田石炭商會、下關間組、東京芝日本工業會社、長野縣飯田日本移民合資會社、大阪舍密製造株式會社、北海道炭礦、汽船會社、大阪鐵工所因島分工場、東京神田南洋拓殖工業會社、北海道三菱芦別炭坑、備中玉島今販藥錦島製工場、福岡縣大里帝國麥酒會社、愛知縣渥美郡清水紡績所、東京久米合資會社、大倉組、大阪合同紡績、南洋新領地サイザン島西村製糖工場、大阪頓堀光中商會、奈良橋紡績所、熊本日本セメント八代支店等にして此以外に於ても仁川京城等の內地人工場の募集に應じ居る者尠からず

▲募集と應募數 前記諸種の工業經營の鮮人募集數は中國製鐵の千七百七十一名（內女百三十六名）を最とし其他は三百名乃至五十名宛にして中には二十名前後のものもあり之に對する應募成績は大體に於て良好なり今募集及び應募總數並に應募渡航後歸還せる數を示せば次の如し

勞集總數	八、三八一名	女一、三一一名
應募渡航	三、七九四名	女 二七五名
歸還數	八〇名	女 三三名

▲勞働種別 如上の渡航鮮人等は內地に於て如何なる種類の勞働に從事し居れるやと云ふに鐵工、鑛冶、石炭、運搬人、土工、藥品製造鑛夫、漕船人夫、麻採取人、紡績職工、同女工、瓶職工、製糖煉瓦、材料運搬夫、飯炊、雜役等にして其の數最も多きは雜役夫及び運搬夫にして鐵工紡織女工等之に次ぐ他は何れも伯仲の間にあり近來渡航者の中に女の增加を見るは特に注目すべき現象と云ふべく歸還者の減少と共に鮮人の內地に同化せる程度を窺知するに足るべきなり尚大正六年度及び七年度上半期に於ては忠北、忠南、全北、黃海、咸北等の諸道よりは一名の渡航者もなかりしが其他の地方に於ては渡航希望の者依然尠からず下半期に於ても希望者の數は猶增加の傾向あり前記諸道の渡航者絕無なりしは固より原因あるべきも主たる理由としては未だ詳しく內地の狀況を知らざるが爲めに因るなりと

食料問題の研究（一）
△食料の需給奈何 生產不足は逐年增加する耳

近時の米價昂騰が延いては食料暴動を惹起するに至つた事は國民の腦裡に食料問題に就て深い教訓を刻したのである獨逸は聯合各國を向ふに廻して

▲敵對行動を始める

事になつてから食料問題に就ては最も力を致した事は世人の周知の如くである其他英國に於ても佛國に於ても乃至米國迄も近來食料問題食料問題の聲は漸次高潮し其根本解決を圖る事には各國共鋭意努力しつゝあるのである、獨り日本のみは這回の米價騰昂の恐怖時代を現出する迄はあまりに食料問題に就ては

▲無頓著であつた

の觀がある然し最早食料問題は他人の事ではない各自の頭上に降りかかつた大問題なのである之が解決に就ては官吏軍人學者教育家宗教家農商工業者は云ふに及ばず國民の上下が擧國一致して眞に考へねばならぬ秋に際してゐる先づ事を解決せんが爲めには其事を知る事が大切である一體日本にはどれ丈けの米が生產されて

▲どれ丈けの人間

を養つて行かねばならぬか將來人口の增加と共に農事の改良土地の開墾に依つて果して其れ丈けの人口を養つて行き得べき量を得る事が出來るか如何うか今信ず可き當局の調べを見ると日本內地の三百萬町步の田地から[illegible]斗の收穫を見て約五[illegible]產がある一方消費の[illegible]るに五千四百萬人年々の食糧一石として五千四百萬石、酒釀造の原料として三百萬石、種籾及び菓子の原料其他で百萬石を年々消費して居るから總計五千八百萬石に上つてゐる即ち既に明かに八百萬石の生產不足を生じて居る之れで居て今迄騷が起らなかつたのは寧ろ不思議と云つてもよい位であるこの八百萬石の不足は麥其他の雜穀に依て補充し其の餘は輸移入に俟たなければならぬ今

▲輸移入の狀況を見るに最近數年の外米輸入平均二百萬石、臺灣米の移入八十萬石、朝鮮米六十萬石總計三百四十萬石の輸移入を示して居る將來米の生產增加豫想は怎うかと云へば大體次の表の如くである

年別	作付反別（町）	生產高（石）
大正五年	三、〇〇〇、〇〇〇	五一、〇〇〇、〇〇〇
大正十五年	三、一〇〇、〇〇〇	五二、七〇〇、〇〇〇
同二十五年	三、二〇〇、〇〇〇	五四、四〇〇、〇〇〇
同三十五年	三、三〇〇、〇〇〇	五六、一〇〇、〇〇〇
同四十五年	三、四〇〇、〇〇〇	五七、八〇〇、〇〇〇

同樣にして將來の消費を表示すると次の如くである之は食料酒其他を合せ

▲一人當一石一斗と見積つての計算で多少過少に見積つてある

年別	人口（人）	消費高（石）
大正五年	五四、〇〇〇、〇〇〇	五九、四〇〇、〇〇〇
同十五年	六〇、〇〇〇、〇〇〇	六六、〇〇〇、〇〇〇
同二十五年	六六、〇〇〇、〇〇〇	七二、六〇〇、〇〇〇
同三十五年	七二、〇〇〇、〇〇〇	七九、二〇〇、〇〇〇
同四十五年	七八、〇〇〇、〇〇〇	八五、八〇〇、〇〇〇

以上の生產消費を見て將來の米の需給關係を表示すると

年別	消費高	生產高（石）
大正五年	五九、四〇〇、〇〇〇	五一、〇〇〇、〇〇〇
同十五年	六六、〇〇〇、〇〇〇	五二、七〇〇、〇〇〇
同二十五年	七二、六〇〇、〇〇〇	五四、四〇〇、〇〇〇
同三十五年	七九、二〇〇、〇〇〇	五六、一〇〇、〇〇〇
同四十五年	八五、八〇〇、〇〇〇	五七、八〇〇、〇〇〇

▲即ち生產不足は逐年遞增して居る內地の生產方法も近年著るしく集約的となつて來て居るので此上の生產增加は至難であるとせば此生產不足は全部植民地及び外國の輸移入に俟たねばならぬが朝鮮の米の需給關係、生產增加能力及び其方法等は吾人の最も研究を要する處である次には之等關係に就て述べて見よう

◎浦鹽電線多忙

京城浦鹽間の電信線は出兵以來軍用電報その他官私報輻輳し頗る繁忙の狀態を呈しつゝあるがその發著は素より大部分東京に付延いて東京京城間の通信輻輳し電報の遲延は一層甚しきものあらんと

◎本年鮮鐵豫算

大正七年度に於ける朝鮮線內鐵道營業收入豫算に就き滿鐵京城管理局に就きて聞くに左の如し

▲營業收入（圓單位）

（一）運輸收入	一四六一、八九三二
內譯 客車收入	七五一、六四〇四
貨車收入	七一一、二五二八
（二）雜收入	五二、六四一七
內譯 一般收入	二七、五九三九
▲鐵道旅館喫茶店食堂車收入	二三、二八一九
▲倉庫收入	二、七七五九
右合計	一五一四、五四四九

▲營業費支出

（イ）總務費	六、一二七五
（ロ）運輸費	五五四、一九〇二
（ハ）車輛修繕費	一一、六三八六
（ニ）保存費	三三三、九四二〇
（ホ）補充費	六三、七〇一六
（ヘ）鐵道旅館費	二四、五八一六
（ト）豫備費	三〇、〇〇〇〇
右合計	一一七一、二二〇五

以上の如くにして之を六年度に比すれば收入は徐々好況にして實に百九十七萬六千五百圓を增加し支出は一般物價の騰貴と運輸の繁劇とに依り四百三十三萬七千六百九十四圓の增加を見るに至りたるが前年度經費に在りては鐵道用品の大部分は前々年度契約に依り比較的安價に購入し得たりしも今年度は總て騰貴したる價額に依らざる可からざるが故に著しく增加を見るの已むを得ざるに至りされば本年度益金は三百四十三萬三千二百四十四圓を擧げ委託契約に基づく總督府投資額に對し六分の納付金に相當するの豫定なりと

◎浦鹽の外國爲替 鮮銀にて近く開始すべし 片山理事の談

昨年六月以來禁止され居る浦鹽の外國爲替を近く朝鮮銀行にて開始するの計畫あるが右に付片山鮮銀理事は曰く浦鹽の

▲外國爲替禁止 は昨夏ケレンスキー內閣にて之が實行を初め爾來過激派政府も繼續し居れるが帝國としてはケレンスキー政府並に過激派政府共に之を公認し居らず旁々其の禁令を遵奉する必要なきと浦鹽出兵並に戰局の推移せる結果吾が商人その他の同地渡航少からず米、諸雜貨を初め各種物資の浦鹽輸出

▲頓に旺盛 を極め從來の貨物出入澁りたりし時代とは一變したるに付尙浦鹽の外國爲替も之を從來の儘に放置する事は吾が實業界にとり非常の損失たり加ふるに朝鮮銀行券の浦鹽流通も何等强制等特種の手段を講ぜずと雖も勢ひの赴く所漸次增大しつゝあり當に現在の如く爲替關係を杜絕の狀態に放置し難きを以て適當の方法により鮮銀系統の松田銀行部を活動せしめ外國爲替の途を拓かんとする事に行議一定せり唯それまでに如何なる順序を踏むべきか又過激派政府を認めずとするも有力なる彼國の階級との間に

▲如何なる諒解 を遂ぐべきか等に就ては先月同地に赴きたる橫山、股野兩司事の任務の一となしたるなり、而して橫山司事は浦鹽にて相當の成果を齎らし、目下東京に赴き在京中の正副總裁、木村理事の諸氏に報告し政府當局この間にも夫々協議を盡しその結果兩三日中に歸鮮の豫定なるが各種の事務的關係は氏の歸任後決すべく要するに遠からず浦鹽媒介外國爲替の取組を見る事は既定の事實と稱して可なり

◎點呼令狀未受者注意

京城府に達したる本年度簡閱點呼被召集者は二千六百四十餘名あり夫々配布を爲しつゝあるが無屆旅行、行衞不明、義勇兵志願の爲め滿洲方面に出掛し居る者等により配達不能者約百餘名あり右は在鄉軍人としての本分に背反するのみならず不參者は嚴罰に處せらるべきを以て該點呼令狀未受者は注意せらるべしと

◎演習應召者注意

本年羅南、會寧、咸興諸部隊に於て擧行さるべき勤務演習應召者は該令狀に示されたる如く本月十六日午前八時迄に指定の部隊に參集せざるべからず京城府管內のみにて六十餘名あり而して右一地方の經路は是非共元山出帆清津著の船便に依らざるべからざるが今十六日午前八時迄に羅南會寧に到著すべき船便を見るに九日元山發十三日清津著及び十一日元山發十四日清津著の二便による外なきを以て應召者は此の點充分留意し尙々遲著等の違反なきを期すべく又九日より京元線時刻改正の結果每日午前六時南大門發午後四時三十分元山著一列車に改められたるを以て之亦注意さるべしと

◎鴨江橋開閉變更

鴨綠江開閉橋開閉時刻は九月五日より左の通り改正の旨五日告示さるべし

開橋時刻	閉橋時刻
午前九時三十分	午前十時三十分
午後一時三十分	午後二時三十分
午後四時三十分	午後五時三十分

◎鮮人留學生懇話會

既報の如く總督府學務局主催鮮人留學生懇親會は三日午後三時より南米倉町京城俱樂部に於て開催さる當日は總督府より宇佐美內務部長官關屋局長弓削學務課長及び各官立學校長等列席主催者側より留學生に對し內地に留學の諸子は勉學以外可成內地人の風習に親しむ事に心掛く可き事それには單に下宿生活のみを爲さず內地人の家庭に入りて家族的生活を爲す方法を採るやう心掛く可き事又右の如き便宜を得難き者は成る可く先輩內地人等に依賴して便宜を得る事に努むる事等に就き希望する處ありて學生側よりも意見希望出で主客打解けて懇談同六時散會せるが斯くの如き懇談會は將來に於ても屢々催し相互意思の疎通を圖る筈なるも留學生中居所不明等にて未だ全部を參加せしむる能はず主催者も頗る遺憾に思ひ居れるが今回の懇親會に出席せざる留學生は此際總督府學務局宛住所氏名を通知するを可とすと

人事消息

▲園枝博氏（總督府技師）五日午後南大門發賜暇歸省
▲齋藤八吉氏（京大教授法學博士）四日退京
▲六橋鐵雄氏（久原鑛山技師）同
▲原喜三二氏（中村組靑島支店長）同
▲島津齊氏（七十七聯隊附步兵大尉）同
▲北岡春平氏（三越社員）四日夜入京朝鮮ホテルへ

◇……鳥瞰雜俎……◇

獨逸の新聞政策は今更の事ではないが其の獨逸政府に買收されて居た事が暴露して獨探の名前まで現れ出した▲連中の中にはリアム、バヤード、ヘールなど買收されて居た事が現れ出した▲其中に彼の紐育イヴニング、メールなども獨逸政府に買收されて居た事が現はれて來る▲彼の紐育イヴニングの主筆が其手に乘つて居た事が現はれて來ると飛んだ人までがボツボツ破れて來る▲博士は能く外國政府に買收さる、噂の立つ人で一時は日本政府に買收されたと云ふ噂を盛んに立られた事もあつた▲而して死職となつたが今度は實際獨逸政府に買收されて居たらしい▲元來此の人は非常に名擧心の強い人で牧師から燃ゆる樣な名擧心に驅られて新聞記者となり日露戰爭當時は紐育タイムスに居た▲博士が日本買收の噂を立てられたのは其の時である從つて博士は却々日本贔屓の人であつた▲處が其後ウオードヽウオークと云ふ月刊雜誌に這入ると忽ち排日者となつて盛んに誌上に排日論を蒐めたものだ▲今度は大戰が勃發すると駐米獨使ベルンスドルフが早くから博士に目を付けて居たから早速在米獨逸情報局長とした▲而して三萬圓の年俸を與へ更に後例のハースト通信社の通信員として伯林に送つた▲だから博士は此の特別の關係上獨逸では何處でも大手を振つて出入して大分同業者を羨した▲彼の獨相ベートマンホールウエッグとの談なども悉く自分勝手に書いて後で除閑を述たものだ相な▲流石に米國は廣い變い博士もあつたものだ

將來銀行會社員商店員トシテ實業界ニ活躍セントスル人ハ本會講義錄ヲ講習セラレヨ短期卒業卒業後就職案內ス內容見本無代進呈
銀行會社事務講習會講義錄 法學博士 花井卓藏
（申込ミハはがきニテ可） 東京麴町有樂町一ノ三 銀行會社事務講習會

工事請負入札廣告
一、大邱銀行新築工事
入札保證金ハ各自見積代金百分之五以上
入札者ハ滿二年以來其業ニ從事セル官公署ノ證明アルモノニ限ル
入札希望ノ御方ハ本行ニ就キ入札人心得書及契約書案等熟覽ノ上來ル九月十二日午前十一時限リ營業證明書、入札保證金ヲ添ヘ本行ニ御差出相成度即時開札可致候
大正七年九月 日
株式會社 大邱銀行

京城高等女學校教諭 坪內孝
京城工業專門學校教諭 佐々木信 共著
書翰文規範及文例
四六版三〇一頁 定價金八十五錢
誰にでも書けて擬て中々甘く書けないものは書簡文である此書は新式の說明法に據つて秩序的に手紙を上手に書く秘訣を說いたもので卷末附錄の類語異同辯は字の使ひ方を示し同じ『ア、』でも嗚呼と噫と唉の差別を明かに說いたるもので文章を書く人に必要な寶典である
發行元 京城本町 大阪屋號書店 振替京城二五七三
特約店 京城本町 岩松堂書店 振替京城二四四五

青山東園先生新著（定價四十五錢郵稅六錢） 最新刊
談話 シヤレ滑稽法
成効の最大要素は交際上手に在り交際上手は機に臨み洒落滑稽を活用するに在り本書は他書の類に非ず著者苦心考案に成れる獨特の內容を有す其分類法の哲學的にして其例題の奇抜なる讀者をして滑稽者の宿を得せしめずんば措かず[illegible]身の著者の新著萬人一讀に値す
紙價暴騰の際の廉價本書の買行を可とす
東京赤坂檜町六 豊文社 振替東京四一七七〇 電話新一八〇七番

九月號 太陽 秋季增大
チェックスロワック聯合國…米田實
田中參謀次長…齋東野人
支那再造の前途…稻葉君山
戰局と獨逸政界…長瀨鳳輔
トライチケの軍國主義政治…
失敗せる米價調節…前田子爵
▼有の儘の事實…淺田江村
▼教育時言（宗教大學外四）…北水
▼武士的經濟 法學博士 潮木誠一
パンを與へよ…內田魯庵
米價問題（財政經濟） 堀江博士
救世軍と生活難問題 山室軍平
大附錄
小說 白晝夢…正宗白鳥
脚本 敗北者…江馬修
小說 貴族の孤兒…長與善郎
◆感想 黑蟻と赤蟻（小劍）
◆長詩 生活雜詩（花外）
◆感想 秋の感謝（鼓二郎）
母性保護問題…山田わか
余の觀たる支那…田南岳璋
▼馬に關する民俗傳說…南方熊楠
▼歐米醫學研究所由來…鶴見博士
▼粘土自像（晶子）▼滿韓俳行脚外
原內閣を造れ…無名隱士
支那時局の難眞想の解…內藤文學博士
定價 本號に限り金六拾錢 稅四錢
東京本町 博文館

魚釣具 投網 卸小賣
烏賊用カスミ網各種あり
京城本町貳丁目 吉田商會 電話四一三八番

內科 小兒科 入院隨意
院長 醫學士 小林千壽
副院長 東北醫學士 戶川武
永登浦分院長 醫師 久保廣次
京城旭町二丁目 小林醫院（電話九六二番）

謹告
拜啓各位益々御淸榮奉賀候扨て今回小生儀廿年來當地に於て鐵工造船業を營み居候仁川鐵工所を繼承仕り設備の擴張と同時に名稱を仁川造船鐵工所と改め仕事を本位とし親切を旨とし迅速に且つ廉價を以て各位の御需用に應じ申候に付何卒倍舊の御引立を蒙り度此の段御挨拶旁御願申上候 敬具
營業種目
造船部 船舶の新造及修繕
鐵工部 汽機汽罐、發動機、鑛山機械、各種喞筒類 土工及鑛山用車輪、鐵板製作品、其他鐵工一般
仁川港町四番地（電話三八番）
仁川造船鐵工所
工學士 緒方久
技師 田川富太郎

登錄
クラクラ大島
（布）
平松武兵衞商店
京都市東洞院六角

金儲雜誌 無代進呈
▶金を儲けたい方は先づ研究せよ▶研究せずに投資するは大危險也▶安全に確實に迅速に利殖せんと欲する方はハガキにて申込まれよ▶主義普及のため有利なる利殖記事滿載の金儲雜誌を無代進呈す▶部數に限りあり至急を要す
東京京橋電話局前 利殖の友社

製造元とのやくそくで
砂糖、麥粉、蕒、金巾、燐寸、石油、洋蠟、鍋釜、紙類、乾物、罐詰、ビール、サイダ、葡萄酒、淸酒、醬油、染粉、足袋其他日鮮人向雜貨食料品
割の安い品そろいの
大おしろ店
仁川本町 河野本店 電話八二〇番

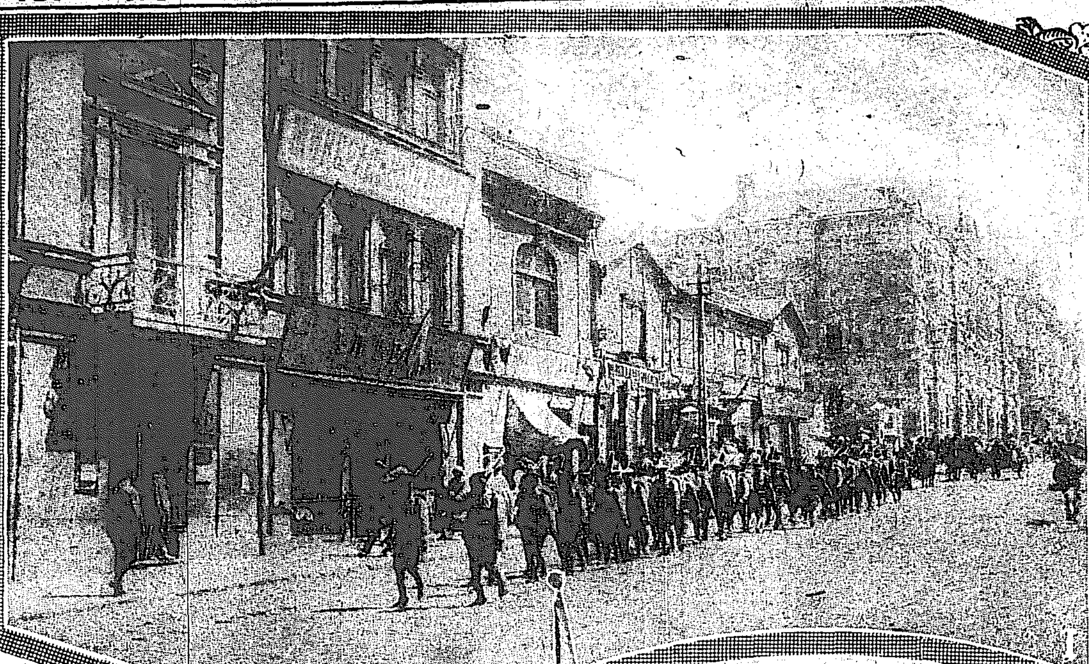
…こしての需用旺んなる爲め生産に…萬打と斷玉少の減少を呈した…米國で大努力するものありと雖もるに依りセルロイド加工業者に對し需要に倍增に應ずべくもあらず絶する拂下數量の如きも申込數量に…[illegible]

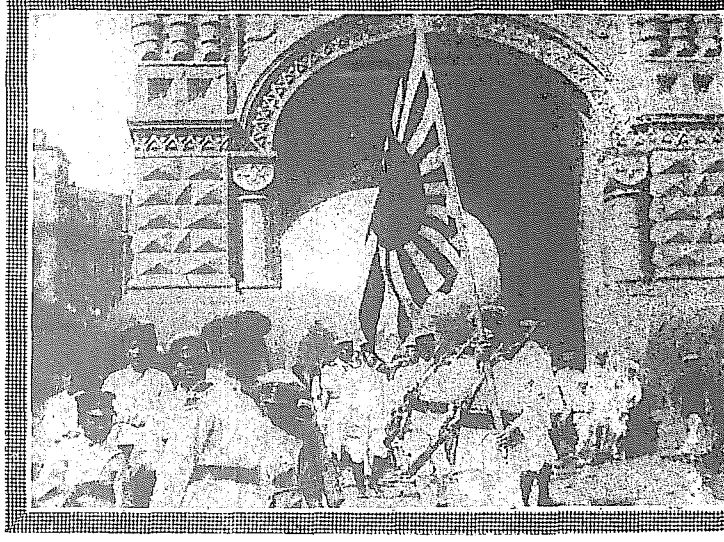
▲古楮鐵暴騰 古楮鐵は最近一部の思惑買ありて玉買物二十圓高の百六十圓米國物十圓高の居たる…[illegible]

▲肥料界保合 …發の爲め市場は取引…拂社絶し…其鋼鐵と共に開始された…[illegible]

▲織布界近況 …[illegible]

從軍寫眞畫報=從軍記者金谷眞撮影





(一)威風堂々として浦鹽の銀座通スウエトウランスカヤ街を進行する日本軍隊 (二)浦鹽に上陸せる出征第〇〇師團第〇〇聯隊の武勇を語る光輝ある軍旗 (三)海軍旗を翻して進む浦鹽日本海軍陸戰隊(廢帝ニコライ記念塔下通過の光景)

○東洋人は古來……盛んに混血した

萩野、田中兩博士が國史の對外的研究に先鞭をつける

室町時代に日本村を建設した朝鮮の三浦

東京帝國大學教授萩野由之、田中義成の兩文學博士は二日夜關釜連絡船にて渡鮮せるが田中博士は語る『我々兩名は大學より滿鮮及び支那の視察に派遣せられ

★來年三四月 頃歸國の告にて朝鮮、滿洲、北京、洛陽、上海、香港、佛領印度、暹羅の順路を取り著名なる寺院其他を歷訪すべし帝大よりは工科大學及び文科の東洋史受持教授は之迄支那視察に赴けるも日本國史受持は今回我々の行を以て最初の試みとす目的は國史研究の範圍を擴め古來より本邦と關係ある支那、印度、南洋を研究して日本

★文化の淵源 と東西に於ける日本の位置を推知せんとするものにてこれは單に國內の材料のみにては日本の眞相を知る可からざるものあればなり即ち今回は國史の對外研究の端緒を開く譯にて古來海外より日本に移住して日本國民に歸化せるもの多きと同時に日本より海外に渡りて他國人となれるもの多かるべく朝鮮にては釜山外二個所を三浦と稱し

★室町時代に 日本人の最も多く移住せるあり支那にては上海の南方なる寧波等に於て戰國時代九州沿岸の商人が移住して多くの日本村を形成し居たり秀吉の九州征伐に際し鍋島肥前守に對し望む所の領地を與へんと云へるに鍋島氏は支那に於ける日本移民の居留地を皆貰ひたしと申出たるを見ても其數多かりしを推知し得べく

★南洋方面に てはフイリッピンの呂宋島の如き日本人の移住せるもの最も多し是等は全然外國人化して土人と區別し難くなれるものあり今日異國人視すと雖も其の實日本種族なるものあるべきを以て今次の旅行により之等の關係をも知悉する事を得て東洋人種の密接なる關係を闡明するに至るべし(釜山)

○王世子殿下 大阪御通過

李王世子垠殿下は四日午前八時二十分大阪通過歸東の途に就かれたり(大阪特電)

○造船所燒く 久原の經營

三日午後三時半山口縣下松にて久原の經營せる笠戶造船所鑄物工場より出火三分の一燒失す(山口電報)

○遺骨は各原隊へ 階行社から分授

許斐少佐以下二名の遺骨は三日午後三時半雨降る中を小倉偕行社へ入り即日各原隊へ分授せられたり(小倉電報)

○漁船顚覆

慶南蔚山方魚津合田粂吉所有の帆船に內地人漁夫三名乘組み八月十八日午後三時頃江原道蔚珍郡平海面厚浦里の沖合にて漁業中風波の爲め船體顚覆し三名は荒波の中を漂流中二名は憲兵に救助され殘り一名は辛くも泳ぎ上がりて九死に一生を得たり

○神戶に無線電話局

普通の電話と聯絡した上公衆に無料で使用させる

鳥潟博士の考案により神戶電信局前に長さ百八十尺の木柱を立て之にオブローム型の受信線を裝置し是れを引込みてスイッチングステーションを同局內に置くに決せり是れを以て無線電話と有線電話の聯絡を爲し神戶を距る四十海里乃至百海里の地點を航行する船舶より來る無線電話を受け付け無料にて阪神北仙各地と通話せしむる由なるが右は日本最初の試みなりと(大阪特電)

○元山にも不穩の貼紙

犯人は築港人夫 三日元山幸町元山每日新聞社裏手の電信柱に不穩の貼紙せし者あり文句は『元山には二百名の勞働者あり米價騰貴の今日大いに打合すべき必要あり五日松亭里に集まるべし』との意味なるが何者の所爲とも知れず其筋にて窃に嚴探中四日朝に至り四名の嫌疑者を捕へたり四名とも築港人夫にて孰も內地人なり目下取調中なるが右は船中にて協議せし者ならん(元山特電)

○怪しき外人 元山を撮影して浦鹽へ

數日前より元山驛前西班牙領事館に滯在し居たる西班牙人某は其行動に怪しき點あり滯在中元山の各所を十數枚撮影して三日夜越後丸にて浦鹽に向へり(元山特電)

○大日本新聞外交員の惡事

公判にて有罪の論告 長崎縣南松浦郡福江村生れ當時京城居住中山辰彌(二四)が東京に本社を有する大日本新聞朝鮮總支社外交に雇はれ中の文書僞造詐欺取財等に對する被告事件は四日午前十時頃より京城地方法院法廷に於て田中裁判長金川城兩判事陪席園部書記の係り境檢事の立合の下に公判開廷されたるが

▲犯罪事實 を聞くに中山は本年七月廿五日京城道務部技手甲水旭を其の自宅に訪問し總支社を南大門通りに移轉したるに付援助廣告の意味にて勸誘して金三圓を受け取りながら其廣告申込書の金三圓とある文字を一圓に書き直し支社の主任岡野長太郎に之を示したるのみにて殘り二圓を消費し

▲次に李王職 事務官船津盛太郎を訪問し大日本新聞滿鮮總支社記者中山紫泉と印刷したる名刺を示して種々の文句を並べて立て恐喝し金十圓を受け取りて悉く私消したるものなり然るに被告は犯跡の一部を否認するより被害者兩名を證人として喚問する所あり是にて取調べを終へ結審したるより

▲境檢事は起て 被告の如き記者と稱する者あるを以て新聞界の名譽を毀損すること夥しく爲めに一般社會より新聞記者の眞價を疑はるるに至るのみならず眞面目なる記者の迷惑となることを言を俟たず犯罪の被害は小なりと雖も宜しく嚴罰に處するの要あり故に懲役八個月に處せられんことを望むと求刑論告せり是れに對し朝倉辯護士より詳細なる辯論あり裁判長より追つて判決を言渡す旨を告げて閉廷せり

浦鹽の印象 (一)

金谷眞

△浦鹽は今確かに戰爭氣分の浦鹽である、第一市街を通つて見ても五歩十歩の間に必ず各國の軍人に出逢ふ、赤い軍帽にカアキ服の日本軍隊を始め中折帽子に輕快な服裝の亞米利加兵、英國兵、佛蘭西兵、チエック兵、支那兵と恰も兵士の共進會といつた光景、それに御本人側の露兵には黑鞘の哥薩克兵もあれば無肩章の青白軍もある、前者はホルワット派のプレンコフ大將の兵で後者はトルストフの西伯利亞聯隊兵である、自分はよく市中に馬車を驅つてチエック兵の敬禮をうける、彼等は多くは自分を日本の軍人と考へて居るのであらう。

△浦鹽の市街は烏渡北鮮の清津港を大きくしたやうな地勢である、港內は天下無比ともいふべき良港でとても清津などの足下にも及ばぬところであるが街が急傾斜に爲して海に突入して居るところは確かに清津に遜色なし、お陰で朝日の谷口君などは自轉車を持參して弱つてゐる、なる程これでは自轉車などに乘つて街內飛び込みの曲藝者以外は渡手出しが出來ぬ次第である。但し米軍はオートバイを飛ばしてゐる、飛ばしては居るがそれは浦鹽を東西に帶のやうに連ねたスウエトランスカヤ街の道路のみである。

△浦鹽と清津と共通の點はまた濃霧の多いことである、濃霧は陰鬱な浦鹽の街を一層暗く過激派にしようとして居る、自分等が上陸して以來日本晴れの日は極めて尠い、曇つたなと思ふと直に煙のやうなのが山や街を蓋うて了ふ、濃霧の序にモ一つ記すことがゴアス、それは近來清津及び元山の人々が盛んに浦鹽で活躍して居ることである、街のあすこでも『ヤア』此處でも『ヤア暫くで』自分にはとてもこれが露領の浦鹽とはどうしても思はれぬ次第である、其上元山驛で晝食卓を共にしたところお膳には北鮮名物の鰈と『たまな』の漬物もあつた、自分は端なくも數年の北鮮生活を思ひ出てどうしても浦鹽は清津の親類だなと思つた(八月廿六日)

○二日の施米

京城救濟會に於ける赤貧者救助施米狀況を聞くに明治町漢城病院跡及び京城府龍山出張所の二個所に於て九月三日取扱ひたる石高人員內鮮人合計九百二十七名に對し米三斗、粟三斗を施與したり而して當日迄の累計額を見るに內鮮人を通じ米四十八石三斗、粟四十八石三斗を一千百十三戶三千二名に對し施與し居れりと

◇各地の白米

‖四日小賣値段電報‖

▲全州 小賣相場値上の噂あるも實際は然らずして矢張一等三十六錢二等三十四錢也

▲群山 變動なし一等四十一錢

▽本記事打切 近來各地共値段に格別の變動無きを以て本日を打切とす

救濟會寄附

金五十圓 寬勳洞 京城書籍業組合

金百圓 男爵 李根澔

小計金百五十圓也

累計金 八萬九千二百五十六圓二十錢也

○町洞總代打合

京城救濟會にては五日午前內地人側の町洞總代約百五十名の參集を求め學校組合會議場にて廉賣券配布方法其他に關する打合せを爲すべし

◇東京 うわさの噂◇

去る八月廿九日の夜內閣總理大臣官邸で首相の催しになる日韓併合九週年目の祝宴が開かれた▲其席上で先づ首相の挨拶が濟むと來客側を代表して滔々と答辭を述べたのは有松法制局長官であつた▲其答辭を述ぶる內に『朝鮮を合併して云々』とやつたので一同皆くすぐつたい顏▲合併も併合も同じことの樣なもの、一寸耳新しいので異樣に響いたのだらう『有松氏は船頭の仲間入りでもしたのだらう、あの顏だつたら確に船頭の頭取位にはなれるだらうよ、……どうしてつて?船頭が錨を卷き上げる時の掛聲をよく聞いてみたまへ『ゴウヘーイ、ヘ、こいつてゐるぢやないか』とは或る惡口屋の話▲惡口屋の謂といへば其席上で電頭の數も多かつたが鋪長伯の電燈は道に大したものだつたさ、何時も午ら電頭の引合ひに出される同伯にはお氣の毒千萬(東京支局)

△善光寺詣で

內地見學團より(十一) 堀川生

廿二日夜十一時の汽車は碓氷峠にかゝつた、橫川驛で後にも機關車をつけて電力で進行する、隧道の中は少しも煙が來ないで涼しい、隧道を出ると數十丈もありそうな谷がある、谷を渡ると又隧道だ、此んなにして約一時間、輕井澤に着いた。海拔假に三千呎、外人の避暑地だけに車窓に爽氣を覺ゆる。

雨模りの曇し醜い野原のボーツとした中に時々數本の松が見ゆる、眞質に絕景だ、輕井澤を過ぎて、沓間の噴煙を眺めつゝ汽車は佐久りに下り、蠶絲の盛な上田町を過ぎ善光寺平野に入る。午前三時長野に着いた。

そぼ降る雨の中を宿に行くと凄い樣だ、二階に轉んでると夜が明けた、直ぐ朝飯を食つて善光寺に詣る、宿から十七丁だと云つたが十分で着いた、伽藍の宏大、構造の巧妙、實に一驚を喫せしめた、時未だ六時半だのに最早遠近の參詣者が堂に滿ちてゐる有樣だ、門の仁王像は日下高村光雲氏の彫刻中で何も置いてない、寺域に近く公園がある、此處に往くと善光寺平野は雙眸の裡に見ゆる、只千曲、犀の二川は隔て明瞭と見ゆない、寺の前に賑い菓子屋が貰つてる、産地だから馬鹿に賑いのだと思つて買つたら失敗だつた。全然苹果の味はせない、路傍に西光寺がある、刈萱山と云つて石童丸の墓がある、九時半發の汽車で長野を出、月の名所姨捨山、信玄、謙信を追想せしむる茶臼山、西條山等を眺め、松本市を過ぎて日本アルプスの雄容を見つゝ鹽尻驛にて中央本線に合し木曾路に入る。車中は御嶽山、駒ケ岳等の登山者が非常に多い。汚れた白衣を纏け錫杖を鈴さを持つてる樣は何となく嚴な心地がする

沿道の山林は檜、欅、樅の良材が千古の翠を湛へて居る、其の間の木曾川の溪流は兩岸に迫つて巨岩を打ち河中の岩礁に觸れては白銀を飛ばし、急流激して千態萬狀或は屏風岩となり或は鳥帽子岩となり眞に奇觀に富む、殊によく寢覺床は中央に辨天祠を祀り浦島子の釣臺と傳へる所がある。

斯くて汽車は美濃路を走つて名古屋に着く後七時半(二十三日名古屋にて)

◎京城青年會夜學校開始 九月五日より京城青年會夜學校は開始せらる英語科は七時三十分より鮮語科は六時より教授しルカル、ヒル、ベツク等の外國人、小橋、高渕、丹羽、水島等の內地人教師及び李商載、恵貴永等の鮮人教師等多數諸氏出席あり實用的會話を課題とし教授すべしと

◎九月攝心會 市內若草町妙心寺派にては五日より九日に至る五日間每夕七時より十時迄九月攝心會を催す由なり求道の士の來會を歡迎すと

讀者文藝 (一等には五十錢の御禮物を呈す)

◆物は付『除つて居るものは』

◎國民の勇氣(一等) 京城利川 菊野喜太郎

▲福澤の米 京城 河童

▲米國の金 安州 破六廬

▲薄給者から見た豫算 利川 二九井生

▲歐洲交戰國の女(先着) 平壤 郊外生

正誤 八月二十八日掲載藥商會告中定價參圓參拾錢八錢とあるは東京九圓の誤りに付茲に訂正仕候 大日本オキシパサー商會

中風病 ちうき
余が家は祖父及び父と母の三人とも同病にて困難したる遺傳系統に良藥を得て其悲しき實驗より一千人を限り名士題字の寄贈券二錢郵附新聞記入照會の方に詳報し無代進呈す
▲兵庫縣明石中町 加古忠兵衛

きれいる
病グリグリ出來て困難の處に拔群の效ある秘代良藥により全治せり助けの手 キラズ ルイレキ
二錢切手封入申越の方にスグ詳報す 播州明石相生町 横山家本舖

稻麥扱
價格引下 實驗最新式 無比完全 扱界之王 稻麥明新 製造販賣 定價表呈送 約特店募集
東京本所長崎町三 日本發明奬勵會

胃腸最新藥 ヂケスチン
日本及歐米十三ケ國專賣特許
食慾が進まない時に食慾を促す 元氣が衰へた時に活力を與ふ 貧血のものには血液を補給す 精力の增進と體量の增加を促す 現今醫學大家は胃腸の諸疾患に本品を最も賞用せらる 說明書進呈
東京本町 藥種問屋 岡城商店

一、當社第一回拂込株金領收證公告 第二千五百四十株分 第百銀行取扱領收證番號至二十號松岡富雄名義 右紛失ニ付來ル十月六日迄ニ當會社ニ屆出ナキ時ハ無效トス
大正七年八月三日 京城永樂町二丁目七番地 朝鮮紡織株式會社

新田式耐水調革 ハンタ調帶
新田帶革
朝鮮總代理店 仁川本町四丁目 白神洋行 京城南大門外 白神洋行支店
定價表申込次第送呈

公告
一、京城府岡崎町下水溝改築工事
右來九月七日午前十時入札ニ附ス希望者ハ當府門前ノ掲示ヲ見ヨ
京城府

毛髮の營養に富み日本に冠たる……世界的パール煉香油として內外の需要頗る旺盛なり
パール煉香油 パールポマード パール椿香油

化粧化學を應用し絕對的黑色養毛に遺憾なき……現代理想の椿香油なり
本舖 東京 平尾パール 代理店 大阪 平尾レート

妻の心 八十三

十四の二 小林蹴月作 武内桂舟畫

『何と云つたんだね、駒子——奥樣や妾の外にもまだ——何とやら云ひかけて口を閉ぢて了ふのは變だね。僕の眼中には當時お前より外に、眞個何者もないんだよ。』

町川は、世辭からのみでなく、生眞面目に自分を辯護するやうに云つた。

『それなら結構ですけれども……』と、駒子は故意と睇つたいやうなうすら笑ひを漏らして、

『貴郎つてお方も、なか／＼白ばくれる事はお上手ね。だから奥樣が御病氣になるほど御心配なさるも無理はありませんわ。』

『白ばくれる事が上手だつて？何時僕が白ばくれた事があるかね。』

『ほ、ほ、ほ、それが即ち白ばくれてお在遊ばすと云ふもんぢやありませんか。』

『それが即ち如何したと云ふのかね。』

町川は、一寸輕く怒つたやうな調子で、唇を尖らす。

『お怒り遊ばしたつて駄目よ。貴郎、妾がお屋敷へ參つてからは、まだ足掛け三月かそこらですけれども、その三月ばかしの間でさへ月々日間隙と云ふと、屹度判で捺したやうに、變な山出の女中がお手紙を持つて參つて、貴郎がその都度妾にも奥樣にも知らさぬやうに、お金だか小切手だかを持たしてお遣りになるではありませんか。彼れは一體、何う云ふ何なんで御座いますね。』

『うむ、彼れかね、お前に氣取られたら仕方がないが、彼れはその……その彼れは彼れなんだよ。』

『嫌で御座いますわ。彼れが彼れなんでは些つとも意味が分らないぢや御座いませんか。それよりは判然と招魂社裏のお芳の處へやる手當の金だと彼仰つたら如何……？』

駒子は、到頭正面から捲くしかけたのである。

『は、は、は、是や恐れ入つた。綾子は薄々知つて居るに違ひないとは思つたが、お前までが、そんな詳しい事を知つて居やうとは思はんかつたに、油斷大敵だね。』

『本統に油斷大敵で御座いますわ。大敵も大敵、彼のお芳と云ふ女は妾や奥樣のためにも大敵なら、第一、貴郎のお身に取つては、非常な大敵で御座いますわ。』

『何うして彼のお芳がそんなに大敵かね？お前、口でばかりねらい事を云ふけれども、まだお芳と云ふ女の人物を見た事もありやせんのぢやないか。』

町川も流石に、駒子が見た事もないお芳を惡口するので、餘り好い心持には聽き取らなかつたのである。是も或は本妻綾子との密議の結果、聯合軍を作つて自分を苦める一手段かも知れぬとさへ思ひ做めた。駒子は、例の持前の氣質から、何事も手輕に割り斷定を下して、

『彼仰る通り、お芳さんとやら芳子さんとやらには、まだ一度も御面會は爲た事はありませんけれども、前身が舊派の女優で、當時は旦那樣のお胤を宿して、既や臨月に間もないお腹を抱へて、肩で息を爲てお在だと云ふ事位は承知してますわ。如何です、旦那樣、天眼通は恐ろしいもんで御座いませう。おほ、ほ、ほ。』

駒子は、つけ／＼と云つて、氣味好さゝうに高く笑つた。

『驚いちまうね。お前には。それ程内部の事まで知つこりながら、能くも今日まで默つこッたもんだ。』と、町川は、もう這々の面色。

『そりや貴郎、公然の秘密とは申すやうなもの、お屋敷に居る間は、表面矢張お召使ひの資格なんですもの。然う無暗矢鱈に素ッ破ぬくのは、善くない事と思ひますから、つい遠慮しとりましたんで御座いますわ。』

『は、は、は、餘り遠慮が深過ぎるほどのお前でもないやうだが……そりや然うと、駒子、それはそれとしてだね、今日久し振で、お前と連れ立つて外出したのは、少しばかりお前に極密に囑んどきたい事があつての譯だがね。』

『おやまあ、極密と被仰る丈が、何だか氣懸りで御座いますわね。甚麼事ですか、まあ承はつて見ませう。』

駒子は、今更のやうに緊張の眼付で、町川の側へ屈み寄らうとすると、途端に、此の食店の女將らしい、でぶ／＼と肥滿つた冬向きの婦人が、一寸御挨拶と云ふ調子で揉み手ながらに出て來た。密談は暫時幕切れである。

毛判 京城明治町 岩崎商會

復活の院展 山本鼎氏期待さる 二科會も開場

美術季節も近づいた都の秋の音づれは日に繁くなつて行く先づその先驅としての日本美術院は九月の五日に搬入を締切つて六七の兩日は大觀、觀山、武山を始め同人諸氏の例の嚴重な鑑別がある昨年は

◈千餘點 の中から僅か數十點を擧げたのみと云ふエライ勢ひであつてそれが一部出品者の間には非難の聲が起り院展が漸くにして高踏的となり一方に偏するなど云はれたがまた一方には近來のやうに展覧會向の極彩色のケバ／＼した大きなもの、矢鱈に流行する斯界に之れ等をすつかり蹂躙して一粒わりにしたことは痛快

◈至極だ この評もありそれらの雜音の中に蓋を開けて見ると院展復活後始めて見るの盛況であつた、で今年はやはり昨年と同じ筆法で非常なる嚴選をやるべく横山大觀氏などは之を揚言してゐる而して院友や同人の作でも嚴選を加へんとする意氣込であるけれど先に笹川臨風氏の脫會などあり多少院内に動揺の氣もあることから多年の懸案たる院友及び同人の作品の

◈鑑別は 今年は行らないと云ふ、そして、大觀、觀山、武山、靫彦、古徑を始め巨頭をそろへて出品し動揺の生んだ新生面を大いに發揮しやうと云ふのが大觀氏初め院の意氣込である洋畫の方では世が待望してゐた未醒の大作『西王母』は未完のまゝ闇に葬られたから今年の期待は何と云つても山本鼎氏の作品である昨年は何と云つても

◈滯歐中 の作品のことで在り良きも惡きも一皮脫いての事であつたが今年は日本の風景を寫しての作品を出品す可く期待されてそれがいかに新しい目で見られてゐるか、問題であるかの正宗得三郎氏のやうな鮮かな成功を納めて貰いたいものである院展と同時に竹之臺に蓋を開ける二科會の諸氏の作品ももう大抵出來上つて世に紹介されてゐるが概して云へば

◈有島氏 のにしろ正宗氏のにしろいづれも小品で今年は極めてしんみりした小さいそして藝術的なものが場を占めるべく豫想されるいづれも四五點位らしいが御伊之助氏などは五十號のを出したいと言つてゐる問題はかの昨年の未來派や三角派を並べたやり方の處分であるがその當時もよほど議論のあつた事であり世間からもとかく評があつたから

◈今年は それらを一掃してやはり一科的の現實的寫生的光彩的のものが場を占める事であらう尚ほ會場は美術院と半分づつ借ることになつたから例年よりも幾分か廣々と快くなるであらうとの話（京見）

檳榔樹の蔭より 大喜多筆一

◎如何にして三伏の更を送らんか避暑か、旅行か、温泉か、青波打ち寄する海濱か」さては淸水流る、柳かけ、誰れか一顧の値なしとせんや、然も、余は、綺羅披服の貴族的逸を知るものに非ず、毎夏た、僅に一枚一浴衣を携へて思ふが儘の自適旅行を爲すを常とす」昨夏は南北滿洲より南支那方面に遊び、今夏は西伯利亞の風雲を他所に見て、鮮滿視察の途に上る、關釜連絡船上、可憐しき韓土を後に玄界を渡り、關門の碧水に久濶を謝すれば、波に聲あり、魚躍る、卽夜朝鮮に縁故最も深き、白水將軍を訪へば、例に依つて例の如く痛飮、東亞の經綸を談じて、更に夜の更くるを知らず、坐ろに身の旅中に在るを忘る」將軍詩を賦し示すを見れば。

目送窓前千里船。山明水媚峽中天。縱領百萬提封富。不假關門風月權。

と、而して又曰く

世間名利付逝流。要學無心沙上鷗。西海拾珠非我事。空擁脾肉馬關秋。

何時も作ら、將軍の吟懷眞に、感ずるに餘りあり、

◎最後に將軍筆を執つて認めらるを見れば、

蝸牛角上事功名。堪笑權花一日榮。秋雨滿々漁火冷。何人醉枕祝雞聲。

と、嗚呼皇國の前途は多事なり、眞に枕を蹴つて雞聲を祝するの人士、果して誰ぞ、果して誰ぞ。

◎翌日備後丸にて臺灣に向ふ。航海四日、例の低氣壓に惱まさるゝ事甚だし、基隆港より、臺北に向へば山は青く、水清く、バナナは累々として實り、檳榔樹蔭を爲すところ水牛眠り、眞に麗しき平和の樂土たり。

◎翌日官邸に得意滿面なる新總督明石大將を訪へば、朝鮮時代の回顧談に花は咲き、果ては臺灣を土臺としての所謂廈窗萬里の大經綸を說く、言々句々熱誠溢れて意氣昂る。

◎卽說く、新總督の任に就くや、直ちに地方巡視の途に上り、其觀察振は僅に入り、細に亘りて從者をして驚歎せしめたりと、然も新聞記者に對しては未だ何等の氣も吐かず、爲に默々將軍のニックネームさへありとか、百言は一つの實行に如かず」今この好總督を迎ふ、臺灣の秋や今後靜なるべし。

◎黄昏、總督邸を辭して、客舍に歸り、欄に凭れば、返照猶ほ山に在りて、燈光早く水に落ち、紅影碧波は搖けて、階下の笑聲涼風に亂る。

◎浴後の餘熱既に收まりて、一扇空しく手に在り、苦茗を喫して、數日前京城に於ける繁忙を憶へば恍として既に隔世の感あり、人生願はくば此の如くにして、一夏を送らむか、山靜にして長へに靑く、水滸々として長へに綠なり。

○秋の歌 みよしの

見上げたる斜面の土地の大豆畑露と對ひて默す夜の更け

戻り葉の一葉大豆そよりとも動かぬ月の光うけたり

ほこりさへ白う見ゐつゝ秋はやも散ちんすさらんアカシヤの葉

うす色に空に透きたる遠山のゆるくも延びし秋の朝かな

秋の野は草皆さゆれ千々の草のほさきほさきに實のりける哉

秋の郵葉のあまりた居牛場のアカシヤ葉に長く引く虫

刈萱の實を持ち來たり瓶に挿しさて眺むるは寂しかりけり

○ 京城 青盲

鴫のなきしきるなり夕まけてやけ石の山なごにけるかも

○ 京城 枯花

我れ一人秋ならねども柿の木の葉もれ月して君をおもゆる

○ 淸州 香月

みづ／＼し汝が結びたての島田まげほかげにゆらぐ花扇かな

心なくなめし粧のうすもの なびろかへしつゝよくもまいつる

人蔘エキス
京城本町壹・電話一四八〇、八七〇〇番
ツ 津村兄弟商會

▲廣告▼

處方を公開し責任を明かにせる本邦唯一の

ミツワ家庭藥

◎ミツワ健胃錠 食慾減退、食物停滯、消化不良、噯氣、胃部膨滿、胃部壓重、胃部疼痛、惡心、嘔吐、胃加答兒、胃弱等。

◎ミツワ消化錠 消化不良、食慾缺乏、過食、胃腸障害、病後衰弱等總て消化を促すべき場合。

◎ミツワ制酸錠 酒の惡醉、酒の過飮、宿醉、噯氣、胃酸過多、食慾缺乏、食物停滯、惡心、嘔吐、吐瀉、胃加答兒等。

◎ミツワ緩下錠 常習便秘、又胃腸病、腦病、神經病等より來たる便秘其の他便秘一般。

◎ミツワ止瀉錠 過度の飮食、不良の飮食、寢冷等より起る下痢、急性傳染病以外の諸病より起る一般の下痢。

◎ミツワ解毒錠 過飮過食の場合、傳染良者に接したる場合、不良の飮食物を攝りたる場合、傳染病流行の場合等に胃腸を防腐殺菌し胃腸傳染病を豫防す。

◎ミツワ驅蟲錠 蛔蟲、蟯蟲等腸内に於ける寄生蟲を驅除せんとする場合、是等寄生蟲の腸内に寄生し居る疑ある場合。

◎ミツワ清涼劑 口中の臭き場合、酒に醉ひたる場合、喫煙の場合、睡氣の場合、睡魔の襲ふ場合、倦怠疲勞の場合。

◎ミツワ解熱錠 感冒、急性關節レウマチス、筋肉レウマチス、頭痛、偏頭痛、種々の神經痛、以上諸病に因る發熱及疼痛。

◎ミツワ鎭咳錠 喘息、百日咳、喉頭加答兒、氣管枝加答兒、肺結核、肋膜炎等總て呼吸器病の爲め咳嗽の出る場合。

◎ミツワ祛痰錠 喉頭加答兒、氣管枝加答兒、肺結核、肋膜炎、其他總て呼吸器病の爲め痰の出る場合。

◎ミツワ結核錠 肺結核、肺尖加答兒、氣管枝加答兒、肋膜炎、腹膜炎、腸結核、腺病、百日咳、其他總て結核性の病症。

◎ミツワ人參錠 神經衰弱、ヒステリー、ヒポコンデリー、頭痛、偏頭痛、逆上、眩暈、貧血、腎炎、營養不良、精力減退、老衰。

◎ミツワ復方人參錠 腦貧血、腦充血、脂肪心、心臟肥大、神經衰弱、ヒステリー、頭痛、偏頭痛、逆上、眩暈、腎臟炎、貧血、精力減退、老衰等。

◎ミツワ鎭靜錠 頭痛、頭内腹痛、逆上、眩暈、不眠、神經過敏、神經性心悸亢進、神經衰弱、ヒステリー、癲癇等。

◎ミツワ婦人湯藥 血の道、月經不順、頭痛、頭重、逆上、眩暈、腰痛、下腹痛、子宮内膜炎、子宮外膜炎、白帶下、喇叭管炎、卵巢炎等。

◎ミツワ治痳藥 急性痳疾、慢性痳疾、尿道口より排膿、放尿時疼痛、尿意頻數、膀胱炎、腎盂炎等。

◎ミツワ點眼液 眼瞼腫脹、結膜發赤、結膜腫脹、結膜充血、淚液分泌亢進、羞明、眼掻痒、眼疼痛、眼内異物感、急性結膜炎、眼的熱、トラホーム等。

◎ミツワ鼻病液 一個 卅錢 鼻腔掻痒、鼻腔乾燥、鼻汁過多、嗅覺減退、鼻腔閉塞、鼻粘膜腫脹、鼻充血、鼻加答兒、鼻出血、肥厚性鼻炎、臭鼻症、鼻茸等。

◎ミツワ含嗽錠 百五十錠 卅錢 口腔粘膜腫脹、口内炎、口臭、咽頭疼痛、咽喉疼痛、咽頭加答兒、扁桃腺炎、齒齦炎、熱性病等。

◎ミツワ齒痛液 一個 卅錢 蝕齒より起る疼痛、過熱過冷、又は甘味鹹味の飮食物の爲に起る齒痛、其の他一般の齒痛。

◎ミツワ硼酸錠 百五十錠 廿五錢 逆上眼、流行眼、其他結膜炎の如き眼病、口中の病、婦人生殖器病、打撲傷、挫傷等。

◎ミツワ撒布藥 汗疹、手汗、足汗、多汗症、腋臭、表皮剝脫、皮膚糜爛、皮脂漏、痤瘡、蕁麻疹等。

◎ミツワ泥膏 表皮剝脫、擦過傷、火傷、凍傷、皮膚龜裂、皮膚糜爛、皮膚潰瘍、毛搶、漆疹、かぶれ、濕疹。

◎ミツワ痤瘡膏 一壺 卅錢 痤瘡、皮脂漏、酒渣鼻、毛搶、白癬、粃糠疹、頑府疹等。

◎ミツワ制痒膏 一壺 卅錢 皮膚掻痒症、汗疹、水蟲、濕疹、癰疹、火傷、凍傷、皮膚皸裂、汗疱、黴風、疥癬、蟲類及魚類に刺されたる場合。

◎ミツワ頑癬膏 一個 卅錢 頑癬、陰囊癬、白癬、疥癬、濕疹、其他細菌等の寄生に因て起る皮膚病。

◎ミツワ凍瘡藥 一壺 卅錢 凍傷、皮膚龜裂、皮膚皸裂、水蟲、其他痒を作ふ皮膚病。

◎ミツワ螫蟲液 一個 卅錢 蜂、虻、蚋、蟻、蚊、蚤、蝨、床蟲、毛蟲、蝮、蛇等總て毒類に螫されたる場合。

◎ミツワ鎭痛液 一個四拾錢 打撲傷、挫傷、關節レウマチス、筋肉レウマチス、種々の神經痛等の疼痛のある場合。

◎ミツワ養毛液 一壜五拾錢 脫毛、無毛、毛髮粗疎、雲脂過多、毛髮の發育を促さんとする場合毛髮の榮養を良くせんとする場合。

◎ミツワ腋臭藥 一個 卅錢 腋臭、會陰臭、手汗、足汗、其他汗の多き或は臭き病症。

◎ミツワ痳疾洗滌液 一個 五拾錢 痳毒に因る尿道炎、尿道口より排膿、放尿時疼痛、尿意頻數。

◎ミツワ痔坐藥 六個四拾錢 痔核、痔瘻、肛門裂瘡、脫肛、肛門内に掻痒ある場合、肛門部に疼痛或は灼熱感ある場合。

◎ミツワ婦人坐藥 六個五拾錢 白帶下、加答兒、子宮内膜炎、子宮外膜炎、子宮實質炎、喇叭管炎、卵巢炎。

醫學士木山田謙 編 家庭治療法 四六版本文二百三十頁
疾病の原因や症狀を說き、家庭にて施し得る療法を教へたもので、醫師にかゝるまでの相談相手である（定價金五拾錢但し其半額）郵券代用不苦）を添へ申込まれば一冊送呈す

發賣元 東京市日本橋區橘町四丁目
登錄商號 丸見屋商店
藥品、化粧品、石鹸、香水、小間物問屋
電信略號◎ミヤ 振替口座東京七一〇 營業部電話浪花三〇二四、四四八、四四九、四五〇番

大阪商船汽船出帆
△神戸、大阪行（仁川出帆）
日清丸 月 日 後五時出
群山鎭海行
牟婁丸 月 日 後五時出
木浦大阪行
×信濃川丸 九月五日 後四時出
西湖津新浦城津清津行（元山出帆）
安平丸 九月八日 後十二時出
釜山、門司、宇品、神戸、大阪行
宮島丸 九月十四日 後九時出
上海、芝罘、打狗行（大連出帆）
湖北丸 九月十四日 前六時出
北陸丸 九月 日 後四時出
內地各港出帆主要航路 歐洲行毎月二回、北米行毎月一回、濠洲行一年四回、南洋行毎月一回 [illegible]
大阪商船株式會社 仁川支店 [illegible]

日本郵船出帆
◎大連、天津、牛莊行
高砂丸 九月七日 正午出帆
酒田丸 九月廿七日 正午出帆
仁川海岸町二丁目（電話十番） [illegible]

阿波共同汽船出帆（關東都督府命令船）
大連行
一共同丸 九月七日 [illegible]
仁川代理店 野口商會 [illegible]
元山代理店 [illegible]
京城取次店 河村運送店

朝鮮郵船出帆
雄基行 九月十四日 元山發
越後丸 九月廿二日 元山發
浦汐行 九月廿四日 元山發
山陽丸 九月十七日 釜山發
雄基丸 九月十一日 元山發
大阪行 越後丸 九月八日 元山發
元山雄基行 三浦丸 九月九日 元山發
金剛山遊覽（元山發）
濟州島行 咸鏡丸 九月十一日 釜山發
全羅南道 公州丸 九月十四日 木浦發
群山 [illegible]
南陽丸 毎日一回 仁川海州發
江原丸 九月六日 仁川發
本社 京城南大門通 電話 一九五二、一九五三
釜山支店、元山出張所、木浦代理店 [illegible]
京城南大門驛前 松原運送店 電話長二七〇番
其他各寄港地に荷客取扱店あり